（別紙2）地域未来推進型（令和8年1月募集分）実施計画【2025年度開始事業】

2026.1.27

【実施計画作成に当たっての留意事項】
①左側には最後に交付決定を受けた直近の実施計画の記載内容、右側には変更した部分を**赤文字**にした上で、今回申請する内容を全て記載してください。
②左側は、**以下の項目については必ず記載**し、その他の項目は変更がある項目のみを記載してください。
・**単独・広域の選択**
・**各事業の事業実施期間**
・**各年度の経費内訳の各事業経費の小計**
・**連携地方公共団体の事業経費**

1．申請者情報

都道府県名	福岡県	市区町村等名	糸島市	地方公共団体コード	40230

継続・変更	継続
事業開始年度	2025年度

2．交付対象事業の名称等

単独／広域	交付対象事業の名称
単独	市民活躍都市「いとしま」実現事業

主となる事業分野（入力必須）	事業分野（大項目）	地方への人の流れ	事業分野（詳細）	生涯活躍のまち分野
関連する事業分野①（任意）	事業分野（大項目）		事業分野（詳細）	
関連する事業分野②（任意）	事業分野（大項目）		事業分野（詳細）	

ソフト事業実施期間	2025 年 4 月 1 日 から 2028 年 3 月 31 日 まで
拠点整備事業実施期間	2025 年 4 月 1 日 から 2028 年 3 月 31 日 まで
インフラ整備事業実施期間	年 月 日 から 年 月 日 まで

入力必須（実施事業のみ）

No.	都道府県名	市区町村等名	地方公共団体コード	【ソフト事業】対象事業経費	【ソフト事業】申請額（左記の1/2）	【拠点整備事業】対象事業経費	【拠点整備事業】申請額（左記の1/2）	【インフラ整備事業】対象事業経費	【インフラ整備事業】申請額
1	福岡県	糸島市	40230	22,670千円	11,335千円	77,324千円	38,662千円		
計				22,670千円	11,335千円	77,324千円	38,662千円	0千円	0千円

3．交付対象事業の背景・概要

A．地方創生として目指す将来像（交付対象事業の背景）

2010年1月1日に前原市、二丈町、志摩町が合併し、本市が誕生した。合併後、豊かな自然環境や新鮮な農林水産物などの強みを生かした“ブランド糸島”の取組により、観光入込客数は年々増加する「訪れる場所」となっている。また、移住・定住施策の積み重ねにより、人口が104,157人（2024年12月末）となり、第2次糸島市長期総合計画基本構想（2021年度策定）で設定した将来人口104,000人（2030年）を上回るといった「住む場所」となっている。併せて、本市の知名度も徐々に上がってきており、英情報誌「MONOCLE(モノクル)」が発表する「輝く小さな街」の2021 年ランキングでは世界3位に選出されたことで「選ばれるまち」となった。また、2018 年に九州大学の伊都キャンパスへの移転が完了し、“大学があるまち”として真の学術研究都市の構築を目指し、「糸島サイエンス・ヴィレッジ構想」や「糸島市九州大学国際村構想」を掲げ、特色あるまちづくりを進めている。これらの取組から、住民基本台帳による人口は、合併時の2010年1月末（100,759人）から、2016年3月末（99,687 人）にかけて 1,072人減少したが、その後、本市の人口は微増で推移し、2024年12 月末現在、104,157人となっている。

しかし、年齢3区分別でみると、年少人口は、14,498人（2010年3月末）をピークに微減で推移し、14,200人（2024年12月末）となる一方、老年人口は21,234人（2010年3月末）から31,563人（2024年12月末）と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定される。また、生産年齢人口も64,729人（2010年3月末）から58,394人（2024年12月末）と減少傾向が続いている。

さらに、自然動態では、自然増減が2024年に▲617人と自然減であり、2010年の▲90と比較して自然減が拡大傾向である。また、社会動態では、2014年に社会減から社会増へ転じたが、2018年の1,230人をピークに、2024年は976人と社会増も減少している。

以上を踏まえて、本市も将来的な人口減少を見据えた中で、従来の施策や事業による「訪れる場所」や「住む場所」のまちづくりだけではなく、豊かで充実した生活を送ることができる「暮らす場所」「住み続けたい場所」のまちづくりが必要となる。現代社会が成熟化・複雑化していくと同時に、市民一人ひとりのライフステージやライフスタイルに合わせて、豊かで充実した生活を送るための有効な手段やニーズは多様化している。そこで、地域資源である「文化・スポーツ」に着目して、生涯を通じて学び・活動を続けることやその成果を生かすことができる環境の整備・充実に取り組むことで、あらゆる機会、あらゆる場所で市民が自主的・自発的に活動できる「市民が活躍するまち」を目指す。「市民が活躍するまち」は、社会から必要とされる自己肯定感や存在意義の再認識につながり、豊かな感性や創造性を育むことに加え、他者に共感する心や尊重する心を養い、新たな人と人のつながりを生み出し、社会参加を促すことで健康や福祉分野にも良い影響を与えるなどといった好循環を形成する。既存の施策や事業によるまちづくりと本事業によるまちづくりを重ね合わせることにより、糸島の魅力をさらに磨き上げていくことで、持続可能な「住み続けたいまち」となり、移住・定住人口の確保を図る。

B．地方創生の実現における構造的な課題

本市で2023年度に実施した市民満足度調査では、「文化や教養などの学び、図書館サービス、スポーツの普及など、生涯を通じて学び・活動できる環境」の満足度について、「満足」が6.9%、「やや満足」が21.3%となっており満足度が低いことを示している。これは、下記の分野ごとに構造的な課題を有することが要因と考える。

●文化資源、文化芸術活動
本市は、中国の歴史書「魏志倭人伝」に記されている「伊都国」があった地であり、大陸との玄関口として古くから文化が栄え、農耕が営まれ、さまざまな史跡・遺跡などが今なお各所に残されている。市内では8カ所の史跡が国指定を受けており、中でも、平原遺跡で出土した日本最大の銅鏡「内行花文鏡」は国宝に指定されるなど多くの文化財がある。さらには、2023年に桜井神社と高祖神社本殿が国の重要文化財に指定され、高祖神楽や桜井神社の餅押し等も県の無形民俗文化財に指定されるといった伝統文化も多く有する。
しかし、2023年度に実施した市民満足度調査では、「文化財の保護や活用、芸術・文化活動の支援など、文化・芸術を身近に感じる環境」の満足度について、「満足」が5.7%、「やや満足」が21.3%と満足度が低い。また、「わからない」が53.6%と半数以上となっており、文化振興施策や文化財の活用に具体的な計画がないことから、市の取組を市民が十分に評価できないことが要因となっている。
また、糸島市公共施設等総合管理計画では、2019年度から2060年度にかけて公共施設等の総量削減と複合化等を行うことで、延床面積を25%削減することとしている。文化施設等においても、志摩歴史資料館の機能を伊都国歴史博物館に集約し、その後民間による建物活用を進めることで、延床面積を17%（1,321.23 ㎡）削減するとしている。

●スポーツ
パリ2024オリンピック・パラリンピックでは本市出身の選手が4名出場したことで、市民がスポーツへの関心を高めている。また、2023年7月には多目的体育館を中心とした糸島市運動公園を開園し、屋内スポーツを中心とした市民の交流や憩いの場として機能している。
しかし、2023年度に実施した市民満足度調査では、「日ごろから、スポーツに親しんでいますか」の設問について、「親しんでいる」+「やや親しんでいる」が28.7%、「親しんでいない」+「あまり親しんでいない」が56.8%と「親しんでいない」の割合が高い。糸島市運動公園整備により屋内スポーツは活性化しているが、糸島市公共施設等総合管理計画に基づいて屋外運動場（2か所、16,196㎡）を廃止したこと、原則市内の公園はボール遊びが禁止としていることから屋外スポーツが満足にできる環境でないことが要因と考える。また、サッカーやラグビーなどができる芝のグラウンドが市内にないため、土のグラウンドでは怪我のリスクや限られた範囲での練習を余儀なくされていること、子どもや高齢者が安心して運動できる環境がないことも要因と考える。

●読書環境
旧1市2町単位で3館の糸島市立図書館を運営しており、2022年度の図書貸し出し冊数（人口一人当たり）は全国平均（5.1冊）を上回る5.5冊となっている。また、糸島市立図書館の開館日や時間、天候、距離などにかかわらず、いつでもどこでもスマホやタブレット、パソコンを通じて検索・貸出・返却・閲覧ができる電子書籍サービスを導入している。
しかし、2020年に実施した図書館及び市内施設利用者に対するアンケート調査では、1か月に1冊も本を読まない割合（不読率）は、小学4年生が4%、小学6年生が4%、中学2年生が27%、高校2年生が41%と偏りが生じている。小学4年生から高校2年生まで学年が上がるにつれ、読書離れが進む一方で、小学4年生・6年生と比較して中学2年生、高校2年生は読書の時間よりパソコン・スマホに費やす時間が多い。また、「どのようにして読みたい本を手に入れるか」について、小学生は学校図書館・糸島市立図書館を利用している割合が高く、中学2年生、高校2年生は「書店やインターネットで買う」「パソコンやスマホで見る」の割合が高い。

C．交付対象事業の概要
（交付対象事業がどのように構造的な課題の解決に寄与するのかが分かるように記載すること。）

●文化資源、文化芸術活動
文化芸術推進基本計画策定事業によって、本市の文化芸術振興について基本的な方向性を示すことができ、文化施策の一貫性を高めた長期的かつ戦略的な展開が可能となる。さらに、計画に基づいた文化資源の活用や地域の文化活動を地域内外へまちの魅力として発信することで、観光振興や地域活性化への効果が期待される。
志摩歴史資料館収蔵資料展示事業によって、志摩歴史資料館が保管・展示する資料を伊都国歴史博物館へ集約することにより、市民がすぐに糸島の歴史や文化財を一体的に触れることができる核となる拠点づくりができる。また、資料等の集約や効果的な展示により、市内外から伊都国歴史博物館への来館者数の増加が期待される。
歴史的絵画等展示事業によって、経年劣化により展示できなかった本市に由縁のある画家の絵画を修復し、市役所市民ホールを活用した展示会や市内各所（民間の展示スペースの借用等）で広く巡回展示を行うことで、市民が糸島の文化財に触れる機会を創出し、文化芸術への心を育むことができる。
文化芸術公募展事業によって、子どもたちを含めた市民を対象とした文化芸術作品の公募展を開催することで、市民の芸術文化活動への参画を喚起する。また、優れた作品を市役所市民ホールや伊都文化会館、市内の展示場等で公開することで、展示作品を鑑賞した市民の興味・挑戦意欲も増進する環境を整備する。また、公募展に合わせた講演会やイベントを開催することで、市民の文化芸術に関する学びの場を提供する。

●スポーツ
曽根グラウンド再整備事業によって、2024年度に解体する曽根体育館の跡地活用を含めて、隣接する曽根運動場と併せた一体的な人工芝グラウンドの再整備を行うことで、安全で整った環境でスポーツを行うことができるようになる。糸島市運動公園と併せたスポーツ振興を進めていくことで、将来を担う青少年の健全育成及び競技技術の向上に加えて、年代や障がいの有無などに関わらず、市民の健康増進やスポーツ振興に寄与する相乗効果が期待される。

●読書環境
読書習慣形成・定着支援事業によって、市内の小中学校でクラス全員が同じ電子書籍を読むことができる環境を整備することで、グループで感想を話し合うなどの活用により、子どもたちが読書の楽しさを実感でき、読書に対する意欲を高めることできる。

1．申請者情報

都道府県名	福岡県	市区町村等名	糸島市	地方公共団体コード	40230

継続・変更	継続
事業開始年度	2025年度

2．交付対象事業の名称等

単独／広域	交付対象事業の名称
単独	市民活躍都市「いとしま」実現事業

主となる事業分野（入力必須）	事業分野（大項目）	選ばれる地方	事業分野（詳細）	生涯活躍のまち分野	事業分野 ○
関連する事業分野①（任意）	事業分野（大項目）		事業分野（詳細）		
関連する事業分野②（任意）	事業分野（大項目）		事業分野（詳細）		

ソフト事業実施期間	2025 年 4 月 1 日 から 2028 年 3 月 31 日 まで
拠点整備事業実施期間	2025 年 4 月 1 日 から 2028 年 3 月 31 日 まで
インフラ整備事業実施期間	年 月 日 から 年 月 日 まで

入力必須（実施事業のみ）

No.	都道府県名	市区町村等名	地方公共団体コード	【ソフト事業】対象事業経費	【ソフト事業】申請額（左記の1/2）	【拠点整備事業】対象事業経費	【拠点整備事業】申請額（左記の1/2）	【インフラ整備事業】対象事業経費	【インフラ整備事業】申請額
1	福岡県	糸島市	40230	19,870千円	9,935千円	78,102千円	39,051千円		
計				19,870千円	9,935千円	78,102千円	39,051千円	0千円	0千円

3．交付対象事業の背景・概要

A．地方創生として目指す将来像（交付対象事業の背景）

2010年1月1日に前原市、二丈町、志摩町が合併し、本市が誕生した。合併後、豊かな自然環境や新鮮な農林水産物などの強みを生かした“ブランド糸島”の取組により、観光入込客数は年々増加する「訪れる場所」となっている。また、移住・定住施策の積み重ねにより、人口が104,157人（2024年12月末）となり、第2次糸島市長期総合計画基本構想（2021年度策定）で設定した将来人口104,000人（2030年）を上回るといった「住む場所」となっている。併せて、本市の知名度も徐々に上がってきており、英情報誌「MONOCLE(モノクル)」が発表する「輝く小さな街」の2021 年ランキングでは世界3位に選出されたことで「選ばれるまち」となった。また、2018 年に九州大学の伊都キャンパスへの移転が完了し、“大学があるまち”として真の学術研究都市の構築を目指し、「糸島サイエンス・ヴィレッジ構想」や「糸島市九州大学国際村構想」を掲げ、特色あるまちづくりを進めている。これらの取組から、住民基本台帳による人口は、合併時の2010年1月末（100,759人）から、2016年3月末（99,687 人）にかけて 1,072人減少したが、その後、本市の人口は微増で推移し、2024年12 月末現在、104,157人となっている。

しかし、年齢3区分別でみると、年少人口は、14,498人（2010年3月末）をピークに微減で推移し、14,200人（2024年12月末）となる一方、老年人口は21,234人（2010年3月末）から31,563人（2024年12月末）と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定される。また、生産年齢人口も64,729人（2010年3月末）から58,394人（2024年12月末）と減少傾向が続いている。

さらに、自然動態では、自然増減が2024年に▲617人と自然減であり、2010年の▲90と比較して自然減が拡大傾向である。また、社会動態では、2014年に社会減から社会増へ転じたが、2018年の1,230人をピークに、2024年は976人と社会増も減少している。

以上を踏まえて、本市も将来的な人口減少を見据えた中で、従来の施策や事業による「訪れる場所」や「住む場所」のまちづくりだけではなく、豊かで充実した生活を送ることができる「暮らす場所」「住み続けたい場所」のまちづくりが必要となる。現代社会が成熟化・複雑化していくと同時に、市民一人ひとりのライフステージやライフスタイルに合わせて、豊かで充実した生活を送るための有効な手段やニーズは多様化している。そこで、地域資源である「文化・スポーツ」に着目して、生涯を通じて学び・活動を続けることやその成果を生かすことができる環境の整備・充実に取り組むことで、あらゆる機会、あらゆる場所で市民が自主的・自発的に活動できる「市民が活躍するまち」を目指す。「市民が活躍するまち」は、社会から必要とされる自己肯定感や存在意義の再認識につながり、豊かな感性や創造性を育むことに加え、他者に共感する心や尊重する心を養い、新たな人と人のつながりを生み出し、社会参加を促すことで健康や福祉分野にも良い影響を与えるなどといった好循環を形成する。既存の施策や事業によるまちづくりと本事業によるまちづくりを重ね合わせることにより、糸島の魅力をさらに磨き上げていくことで、持続可能な「住み続けたいまち」となり、移住・定住人口の確保を図る。

B．地方創生の実現における構造的な課題

本市で2023年度に実施した市民満足度調査では、「文化や教養などの学び、図書館サービス、スポーツの普及など、生涯を通じて学び・活動できる環境」の満足度について、「満足」が6.9%、「やや満足」が21.3%となっており満足度が低いことを示している。これは、下記の分野ごとに構造的な課題を有することが要因と考える。

●文化資源、文化芸術活動
本市は、中国の歴史書「魏志倭人伝」に記されている「伊都国」があった地であり、大陸との玄関口として古くから文化が栄え、農耕が営まれ、さまざまな史跡・遺跡などが今なお各所に残されている。市内では8カ所の史跡が国指定を受けており、中でも、平原遺跡で出土した日本最大の銅鏡「内行花文鏡」は国宝に指定されるなど多くの文化財がある。さらには、2023年に桜井神社と高祖神社本殿が国の重要文化財に指定され、高祖神楽や桜井神社の餅押し等も県の無形民俗文化財に指定されるといった伝統文化も多く有する。
しかし、2023年度に実施した市民満足度調査では、「文化財の保護や活用、芸術・文化活動の支援など、文化・芸術を身近に感じる環境」の満足度について、「満足」が5.7%、「やや満足」が21.3%と満足度が低い。また、「わからない」が53.6%と半数以上となっており、文化振興施策や文化財の活用に具体的な計画がないことから、市の取組を市民が十分に評価できないことが要因となっている。
また、糸島市公共施設等総合管理計画では、2019年度から2060年度にかけて公共施設等の総量削減と複合化等を行うことで、延床面積を25%削減することとしている。文化施設等においても、志摩歴史資料館の機能を伊都国歴史博物館に集約し、その後民間による建物活用を進めることで、延床面積を17%（1,321.23 ㎡）削減するとしている。

●スポーツ
パリ2024オリンピック・パラリンピックでは本市出身の選手が4名出場したことで、市民がスポーツへの関心を高めている。また、2023年7月には多目的体育館を中心とした糸島市運動公園を開園し、屋内スポーツを中心とした市民の交流や憩いの場として機能している。
しかし、2023年度に実施した市民満足度調査では、「日ごろから、スポーツに親しんでいますか」の設問について、「親しんでいる」+「やや親しんでいる」が28.7%、「親しんでいない」+「あまり親しんでいない」が56.8%と「親しんでいない」の割合が高い。糸島市運動公園整備により屋内スポーツは活性化しているが、糸島市公共施設等総合管理計画に基づいて屋外運動場（2か所、16,196㎡）を廃止したこと、原則市内の公園はボール遊びが禁止としていることから屋外スポーツが満足にできる環境でないことが要因と考える。また、サッカーやラグビーなどができる芝のグラウンドが市内にないため、土のグラウンドでは怪我のリスクや限られた範囲での練習を余儀なくされていること、子どもや高齢者が安心して運動できる環境がないことも要因と考える。

●読書環境
旧1市2町単位で3館の糸島市立図書館を運営しており、2022年度の図書貸し出し冊数（人口一人当たり）は全国平均（5.1冊）を上回る5.5冊となっている。また、糸島市立図書館の開館日や時間、天候、距離などにかかわらず、いつでもどこでもスマホやタブレット、パソコンを通じて検索・貸出・返却・閲覧ができる電子書籍サービスを導入している。
しかし、2020年に実施した図書館及び市内施設利用者に対するアンケート調査では、1か月に1冊も本を読まない割合（不読率）は、小学4年生が4%、小学6年生が4%、中学2年生が27%、高校2年生が41%と偏りが生じている。小学4年生から高校2年生まで学年が上がるにつれ、読書離れが進む一方で、小学4年生・6年生と比較して中学2年生、高校2年生は読書の時間よりパソコン・スマホに費やす時間が多い。また、「どのようにして読みたい本を手に入れるか」について、小学生は学校図書館・糸島市立図書館を利用している割合が高く、中学2年生、高校2年生は「書店やインターネットで買う」「パソコンやスマホで見る」の割合が高い。

C．交付対象事業の概要
（交付対象事業がどのように構造的な課題の解決に寄与するのかが分かるように記載すること。）

●文化資源、文化芸術活動
文化芸術推進基本計画策定事業によって、本市の文化芸術振興について基本的な方向性を示すことができ、文化施策の一貫性を高めた長期的かつ戦略的な展開が可能となる。さらに、計画に基づいた文化資源の活用や地域の文化活動を地域内外へまちの魅力として発信することで、観光振興や地域活性化への効果が期待される。
志摩歴史資料館収蔵資料展示事業によって、志摩歴史資料館が保管・展示する資料を伊都国歴史博物館へ集約することにより、市民がすぐに糸島の歴史や文化財を一体的に触れることができる核となる拠点づくりができる。また、資料等の集約や効果的な展示により、市内外から伊都国歴史博物館への来館者数の増加が期待される。現在、糸島市の歴史・文化財資料は複数施設に分散して展示・収蔵されており、市民や来館者が本市の歴史を体系的に理解しにくい状況にある。本事業は、展示・収蔵機能を伊都国歴史博物館に集約することにより、糸島の歴史文化を一体的に発信する拠点を形成し、文化資源を観光振興・地域活性化へとつなげる構造的課題の解決を図るものである。
歴史的絵画等展示事業によって、経年劣化により展示できなかった本市に由縁のある画家の絵画を修復し、市役所市民ホールを活用した展示会や市内各所（民間の展示スペースの借用等）で広く巡回展示を行うことで、市民が糸島の文化財に触れる機会を創出し、文化芸術への心を育むことができる。
文化芸術公募展事業によって、子どもたちを含めた市民を対象とした文化芸術作品の公募展を開催することで、市民の芸術文化活動への参画を喚起する。また、優れた作品を市役所市民ホールや伊都文化会館、市内の展示場等で公開することで、展示作品を鑑賞した市民の興味・挑戦意欲も増進する環境を整備する。また、公募展に合わせた講演会やイベントを開催することで、市民の文化芸術に関する学びの場を提供する。

●スポーツ
曽根グラウンド再整備事業によって、2024年度に解体する曽根体育館の跡地活用を含めて、隣接する曽根運動場と併せた一体的な人工芝グラウンドの再整備を行うことで、安全で整った環境でスポーツを行うことができるようになる。糸島市運動公園と併せたスポーツ振興を進めていくことで、将来を担う青少年の健全育成及び競技技術の向上に加えて、年代や障がいの有無などに関わらず、市民の健康増進やスポーツ振興に寄与する相乗効果が期待される。

●読書環境
読書習慣形成・定着支援事業によって、市内の小中学校でクラス全員が同じ電子書籍を読むことができる環境を整備することで、グループで感想を話し合うなどの活用により、子どもたちが読書の楽しさを実感でき、読書に対する意欲を高めることができる。

4. 重点テーマへの該当

重点テーマへの該当有無	無
重点テーマ	

5. 重点配分事業への該当

＜他省庁補助金等の関連する他政策・施策との戦略的な連携を図る事業＞

補助金等の名称					
省庁名		予算額		事業実施年度	
連携のポイント					

＜他の政策・施策に基づく取組と連携する事業における弾力措置の対象となる事業＞

連携する取組		
（個別事業者への支援が含まれる場合のみ）	基本計画に適合するとして承認された地域経済牽引事業計画の名称	
	主務大臣の承認を得られた連携支援計画の名称	
（設備投資等の支援を行う場合）経済波及効果		

＜特区制度を活用した、又は活用しようとする事業＞

特例措置活用		提案		事前相談	
特例措置・提案・事前相談名					
特区指定・認定		特区種別①		特区種別②	
特区種別③					
概要					

＜地域再生法に基づく事業＞

支援措置の名称	
地域再生計画の名称	
概要	

＜スタートアップ支援に係る事業＞

概要	

6. 事業の横展開の状況

横展開事業の該当	－

参考にした自治体および政策分野 ※最大5団体	①	都道府県名		市区町村等名		地方公共団体コード		事業分野（詳細）		事業名	
	②	都道府県名		市区町村等名		地方公共団体コード		事業分野（詳細）		事業名	
	③	都道府県名		市区町村等名		地方公共団体コード		事業分野（詳細）		事業名	
	④	都道府県名		市区町村等名		地方公共団体コード		事業分野（詳細）		事業名	
	⑤	都道府県名		市区町村等名		地方公共団体コード		事業分野（詳細）		事業名	

4. 優先採択テーマへの該当

優先採択テーマへの申請の有無	－

5. 他の政策・施策に基づく取組と連携する事業における弾力措置の対象となる事業

連携する取組			所管省庁への事前相談
主務大臣による認定を受けた政策・施策間連携に関する事業計画の名称			
地域未来投資促進法の「基本計画」に明記される事業のうち、個別事業者への支援が含まれる場合のみ記載	基本計画に適合するとして承認された地域経済牽引事業計画の名称		
	主務大臣の承認を得られた連携支援計画の名称		
地域未来投資促進法の「基本計画」に明記される事業のうち、設備投資等の支援を行う場合のみ経済波及効果を記載			

7. 他の国庫補助金等の対象事業の除外

(1)	ソフト事業及び拠点整備事業において、他の国庫補助金等の対象となる部分や特別交付税等の他の財政上の支援を受けている経費を除外しているか。	○
(2)	ソフト事業及び拠点整備事業において、従前から一般財源により実施されている事業経費や経常的な経費等の財源振替、地方公共団体が実施する福祉事業等、本来一般財源で措置すべき経費を除外しているか。	○
(3)	ソフト事業及び拠点整備事業において、提案、企画・立案に関するコンサルティング経費を除外しているか。	○

8. 交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)

		単位	人
KPI① (アウトカムベースで、複数年度を通じて評価指標としてふさわしいもの)	転出入者数(転入者数－転出者数)		
KPI②	文化や芸術、スポーツに親しむことができる環境が身近にあると感じる市民の割合(「そう思う」+「ややそう思う」)	単位	%
KPI③	市主催の文化振興事業年間参加者数	単位	人
KPI④	曽根グラウンド年間利用者数	単位	人
KPI⑤	電子書籍利用者年間延べ人数	単位	人
KPI⑥		単位	

設定したKPIが複数年にわたって費用対効果を計測するのに適している理由・計測手法・目標値の根拠

【KPI①】
本事業を実施することで、豊かで充実した生活を送ることができる「暮らす場所」「住み続けたい場所」となる契機となり、、また、様々な施策の積み重ねにより糸島市に魅力を感じ、本市への移住を選ぶ人が増えることで、市内への転入者が増加し、市外への転出者は減少することから、総括的なアウトカムとして全体的な成果を計測するのに適している。本市の住民基本台帳をもとに、年間の年間の転入者数から転出者数を差し引いて、転入超過数を計測する。社会増減がピークとなった2018年以降は、2019年～2024年で社会増の平均が940人/年であること、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(2023年推計)」では、2025年をピークにその後は減少に転じることを踏まえて、人口を維持し続けるための数値を設定する。

【KPI②】
本事業を通して、より多くの市民が文化や芸術、スポーツ等に触れる機会の拡大に寄与することから、今糸島に住む市民視点から事業効果(満足度)を確認するために必要な指標であり、事業のアウトカムとして全体的な成果を計測するのに適している。本市が実施する市民満足度調査を通じて、事業効果の計測を行う。市民満足度調査は主観的指標かつ抽出調査であり、社会情勢等で変動するため、現状値より満足度を高めていくこと数値を設定する。

【KPI③】
本事業を通して、文化・芸術を身近に感じる環境を整備することで、市民が文化芸術に関心をもち、既存の講座等に参加する意欲的な市民が増加することから、特に文化芸術振興に係る事業の直接的なアウトプットとして指標に適している。文化芸術は多くの分野があり、一人ひとりが興味のある文化芸術に親しむきっかけとして文化振興事業を幅広く展開していることから、2030年度に2,600人を達成する目標を設定する。

【KPI④】
本事業を通して、屋外スポーツの拠点となる曽根グラウンドが整備することで、屋内スポーツの拠点として市民が利用することから、特にスポーツ振興に係る事業の直接的なアウトプット指標に適している。曽根運動場は年間約30,000人の利用者実績があり、曽根グラウンドは曽根運動場と曽根体育館の跡地を一体的に整備することで、利便性の向上による利用者数の増加が見込まれるため、供用開始年度となる2028年度は35,000人の数値を目標とする。2029年度以降は、曽根グラウンドを活用したソフト事業に取り組むことで、利用者数の増加を目指す。

【KPI⑤】
本事業を通して、電子書籍の活用による小中学校の読書推進を支援することで、図書と触れ合う機会の拡大し、電子書籍による読書の興味関心が高まることから、読書環境に係る事業の直接的なアウトプット指標に適している。糸島市立図書館で実施する電子書籍サービスの電子書籍利用者年間延べ人数を計測する。2025年度に小中学生全員に対して図書館の電子書籍を利用できるようにIDの付与を行うことで一時的な増加が見込まれ、継続した取組により2030年度に5,000人を達成する目標を設定する。

		事業開始前(現時点)	2025年度増加分	2026年度増加分	2027年度増加分	2028年度増加分	2029年度増加分	2030年度増加分	2031年度増加分	2032年度増加分	2033年度増加分	2034年度増加分	KPI増加分の累計
KPI①	計画	976.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00			80.00
	実績 ※見込みは下線												0.00
KPI②	計画	32.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50			12.00
	実績 ※見込みは下線												0.00
KPI③	計画	2,572.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00			40.00
	実績 ※見込みは下線												0.00
KPI④	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	35,000.00	500.00	500.00	500.00	500.00			37,000.00
	実績 ※見込みは下線												0.00
KPI⑤	計画	3,158.00	1,400.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00			2,100.00
	実績 ※見込みは下線												0.00
KPI⑥	計画												0.00
	実績 ※見込みは下線												0.00

KPIの実績等、事業の進捗や効果検証を踏まえた事業の見直し内容及び、考え方

6. 他の国庫補助金等の対象事業の除外

(1)	ソフト事業及び拠点整備事業において、他の国庫補助金等の対象となる部分や特別交付税等の他の財政上の支援を受けている経費を除外しているか。	○
(2)	ソフト事業及び拠点整備事業において、従前から一般財源により実施されている事業経費や経常的な経費等の財源振替、地方公共団体が実施する福祉事業等、本来一般財源で措置すべき経費を除外しているか。	○
(3)	ソフト事業及び拠点整備事業において、提案、企画・立案に関するコンサルティング経費を除外しているか。	○

7. 交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)

		単位	人
KPI① (事業・施策の全体効果を示す必須KPIを設定すること)	転出入者数(転入者数－転出者数)		
KPI②	文化や芸術、スポーツに親しむことができる環境が身近にあると感じる市民の割合(「そう思う」+「ややそう思う」)	単位	%
KPI③	市主催の文化振興事業年間参加者数	単位	人
KPI④	曽根グラウンド年間利用者数	単位	人
KPI⑤	電子書籍利用者年間延べ人数	単位	人
KPI⑥		単位	

設定したKPIが複数年にわたって費用対効果を計測するのに適している理由・計測手法・目標値の根拠

【KPI①】
本事業を実施することで、豊かで充実した生活を送ることができる「暮らす場所」「住み続けたい場所」となる契機となり、また、様々な施策の積み重ねにより糸島市に魅力を感じ、本市への移住を選ぶ人が増えることで、市内への転入者が増加し、市外への転出者は減少することから、総括的なアウトカムとして全体的な成果を計測するのに適している。本市の住民基本台帳をもとに、年間の転入者数から転出者数を差し引いて、転入超過数を計測する。社会増減がピークとなった2018年以降は、2019年～2024年で社会増の平均が940人/年であること、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(2023年推計)」では、2025年をピークにその後は減少に転じることを踏まえて、人口を維持し続けるための数値を設定する。

【KPI②】
本事業を通して、より多くの市民が文化や芸術、スポーツ等に触れる機会の拡大に寄与することから、今糸島に住む市民視点から事業効果(満足度)を確認するために必要な指標であり、事業のアウトカムとして全体的な成果を計測するのに適している。本市が実施する市民満足度調査を通じて、事業効果の計測を行う。市民満足度調査は主観的指標かつ抽出調査であり、社会情勢等で変動するため、現状値より満足度を高めていくこと数値を設定する。

【KPI③】
本事業を通して、文化・芸術を身近に感じる環境を整備することで、市民が文化芸術に関心をもち、既存の講座等に参加する意欲的な市民が増加することから、特に文化芸術振興に係る事業の直接的なアウトプットとして指標に適している。文化芸術は多くの分野があり、一人ひとりが興味のある文化芸術に親しむきっかけとして文化振興事業を幅広く展開していることから、2030年度に2,600人を達成する目標を設定する。

【KPI④】
本事業を通して、屋外スポーツの拠点となる曽根グラウンドを整備することで、屋外スポーツの拠点として市民が利用することから、特にスポーツ振興に係る事業の直接的なアウトプット指標に適している。曽根運動場は年間約30,000人の利用者実績があり、曽根グラウンドは曽根運動場と曽根体育館の跡地を一体的に整備することで、利便性の向上による利用者数の増加が見込まれるため、供用開始年度となる2028年度は35,000人の数値を目標とする。2029年度以降は、曽根グラウンドを活用したソフト事業に取り組むことで、利用者数の増加を目指す。

【KPI⑤】
本事業を通して、電子書籍の活用による小中学校の読書推進を支援することで、図書と触れ合う機会が拡大し、電子書籍による読書の興味関心が高まることから、読書環境に係る事業の直接的なアウトプット指標に適している。糸島市立図書館で実施する電子書籍サービスの電子書籍利用者年間延べ人数を計測する。2025年度に小中学生全員に対して図書館の電子書籍を利用できるようにIDの付与を行うことで一時的な増加が見込まれ、継続した取組により2030年度に5,000人を達成する目標を設定する。

		事業開始前時点	2025年度増加分	2026年度増加分	2027年度増加分	2028年度増加分	2029年度増加分	2030年度増加分	2031年度増加分	2032年度増加分	2033年度増加分	2034年度増加分	KPI増加分の累計
KPI①	計画	976.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00			80.00
	実績 ※見込みは下線		−300.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00			−230.00
KPI②	計画	32.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50			12.00
	実績 ※見込みは下線		−	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50			10.50
KPI③	計画	2,572.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00			40.00
	実績 ※見込みは下線		5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00			40.00
KPI④	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	35,000.00	500.00	500.00	500.00	500.00			37,000.00
	実績 ※見込みは下線		0.00	0.00	0.00	35,000.00	500.00	500.00	500.00	500.00			37,000.00
KPI⑤	計画	3,158.00	1,400.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00			2,100.00
	実績 ※見込みは下線		16,000.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00			16,700.00
KPI⑥	計画												0.00
	実績 ※見込みは下線												0.00

KPIの実績等、事業の進捗や効果検証を踏まえた事業の見直し内容及び、考え方(事業・経費に係る地域の多様な主体の参画による評価の内容を踏まえた事業見直しについて記載すること。)
※ソフト事業の計画期間を延長する場合は、事業期間の延長について、地域の多様な主体の参画による評価の内容を踏まえたものであり、当該評価の内容を踏まえた事業の見直しが図られていることを記載すること。また、当初の事業計画期間のKPIの目標値を1つ以上達成(見込みも可)していることを記載すること。

・KPI①については、未達成となる見込みである。文化芸術・スポーツ・読書環境の充実は、市民の生活の質の向上には寄与しているものの、短期間で人口移動というアウトカムに直結する施策ではなく、効果の発現には一定の時間を要する。一方で、全国的に転出超過が続く中、本市においては転入超過となる見込みであり、施策の方向性としては一定の成果が現れつつある。
・KPI②については、2026年度から実施予定の市民満足度調査において新たに設定する調査項目であるため、現時点では実績値の計測ができていない。
・KPI③については、達成する見込みである。一人ひとりが興味のある文化芸術に親しむきっかけとしての成果が確認できる。一方で、新たな参加層の掘り起こしや、継続的な関与につなげる仕組みづくりが今後の課題である。
・KPI⑤については、順調に推移しており、目標値を大幅に上回っている。読書離れが指摘される中高生向けのコンテンツや、利用者が多い30～50代向けの電子書籍の充実を図ったことにより、電子書籍利用者数が着実に増加している。

以上のKPIの実績や事業の進捗状況、ならびに事業実施後の利用状況等を踏まえ、今後、よりKPIを上昇させていくため、以下のとおり事業内容の見直しを行う。

文化芸術公募展事業については、2025年度に策定予定の「糸島市文化芸術推進基本計画」との整合を図りながら、事業の在り方を見直す。これまでの単発的な公募展の実施にとどまらず、市民が文化芸術に継続的に触れ、豊かな感性や創造性を育む機会の創出、さらには活動・鑑賞ができる拠点や仕組みづくりを重視した取組へと再構成する。
参加型・体験型のプログラムの充実や、世代や関心分野に応じた多様な文化芸術事業を展開することで、市民満足度(KPI②)の向上および新規参加者の獲得による参加層の拡大(KPI③)を図る。これらの取組を通じて、「暮らしやすさ」や「住み続けたいまち」としての評価を着実に積み重ねることで、転出抑制・転入促進(KPI①)につなげていく。

9. 自立性

取組内容
（事業を進めていく中で、事業推進主体が自立していくことにより、将来的に本交付金に頼らずに、事業として継続していくことが可能となる事業であること。

・文化芸術推進基本計画策定事業については、「民間事業所からの支援を受けられる仕組みづくり」、「民間での文化施設の誘致やフィルムコミッションの立ち上げ推進」など、文化・芸術の振興に対し、民間の活力を生かせる土壌づくりのための支援の視点を組み込むことで、将来的に自立した事業展開ができるようにする。
・曽根グラウンド再整備事業については、企業ふるさと納税の活用による事業の実施を検討することとし、グラウンド整備後は指定管理者を設置することで利用料を徴収することや収益が見込める事業を実施することで、これらで得た収益によって継続運営する。
・その他事業については、事業の効果検証を行いながら事業を継続する場合は本市の財源で実施する。

自主財源の種類		自主財源の内容
【A】	企業版ふるさと納税	曽根グラウンド再整備など事業に賛同する企業からの寄附を募る。
【B】	一般財源	市の一般財源による負担
【C】		
【D】		
【E】		

各年度における自主財源見込額		事業開始前（現時点）	2025年度（1年目）	2026年度（2年目）	2027年度（3年目）	2028年度（4年目）	2029年度（5年目）	2030年度（6年目）
【A】	計画	0千円	500千円	1,000千円	2,000千円			
	実績 ※見込は下線							
【B】	計画	0千円	6,820千円	99,094千円	223,604千円			
	実績 ※見込は下線							
【C】	計画							
	実績 ※見込は下線							
【D】	計画							
	実績 ※見込は下線							
【E】	計画							
	実績 ※見込は下線							
合計	計画	0千円	7,320千円	100,094千円	225,604千円	0千円	0千円	0千円
	実績 ※見込は下線	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業経費			5,977千円	99,994千円	225,074千円	0千円	0千円	
うちソフト事業費			5,977千円	22,670千円	10,273千円	0千円	0千円	
うち拠点整備事業費			0千円	77,324千円	214,801千円	0千円	0千円	
総事業費								
自主財源見込額の計画が未達成であった場合、その理由								
未達成の理由を踏まえた見直し内容及び考え方								

8. 自立性

取組内容
（事業を進めていく中で、事業推進主体が自立していくことにより、将来的に本交付金に頼らずに、事業として継続していくことが可能となる事業であること。

・文化芸術推進基本計画策定事業については、「民間事業所からの支援を受けられる仕組みづくり」、「民間での文化施設の誘致やフィルムコミッションの立ち上げ推進」など、文化・芸術の振興に対し、民間の活力を生かせる土壌づくりのための支援の視点を組み込むことで、将来的に自立した事業展開ができるようにする。
・曽根グラウンド再整備事業については、企業ふるさと納税の活用による事業の実施を検討することとし、グラウンド整備後は指定管理者を設置することで利用料を徴収することや収益が見込める事業を実施することで、これらで得た収益によって継続運営する。
・その他事業については、事業の効果検証を行いながら事業を継続する場合は本市の財源で実施する。

自主財源の種類		自主財源の内容
【A】	企業版ふるさと納税	曽根グラウンド再整備など事業に賛同する企業からの寄附を募る。
【B】	一般財源	市の一般財源による負担
【C】		
【D】		
【E】		

各年度における自主財源見込額		事業開始前（現時点）	2025年度（1年目）	2026年度（2年目）	2027年度（3年目）	2028年度（4年目）	2029年度（5年目）	2030年度（6年目）
【A】	計画	0千円	500千円	1,000千円	2,000千円	2,000千円		
	実績 ※見込は下線	0千円	0千円	1,000千円	2,000千円	2,000千円		
【B】	計画	0千円	5,977千円	96,972千円	221,166千円	5,000千円		
	実績 ※見込は下線	0千円	5,977千円	96,972千円	221,166千円	5,000千円		
【C】	計画							
	実績 ※見込は下線							
【D】	計画							
	実績 ※見込は下線							
【E】	計画							
	実績 ※見込は下線							
合計	計画	0千円	6,477千円	97,972千円	223,166千円	7,000千円	0千円	0千円
	実績 ※見込は下線	0千円	5,977千円	97,972千円	223,166千円	7,000千円	0千円	0千円
交付対象事業経費			5,977千円	97,972千円	223,166千円	0千円	0千円	
うちソフト事業費			5,977千円	19,870千円	8,003千円	0千円	0千円	
うち拠点整備事業費			0千円	78,102千円	215,163千円	0千円	0千円	
総事業費		0千円	5,977千円	97,972千円	223,166千円	7,000千円		
自主財源見込額の計画が未達成であった場合、その理由		本事業においては、計画当初、曽根グラウンド再整備等の事業に賛同する企業からの寄附を想定し、企業版ふるさと納税の活用による自主財源の確保を計画していた。しかし、2025年度（1年目）においては、本事業に係る事業費の計上がなかったことから、企業版ふるさと納税の寄附対象事業を明確に示すことができなかった。						
未達成の理由を踏まえた見直し内容及び考え方		2026年度以降は、曽根グラウンド再整備等の具体的に事業費が明確となることから、企業版ふるさと納税の活用を前提に、寄附募集に向けた取組を進めることとする。						

10. 地域の多様な主体の参画

地方公共団体名		産	官	学	金	労	言	住民全般
福岡県糸島市	主体名	指定管理者	糸島市	九州大学				糸島市文化協会、糸島市スポーツ協会
	主な役割、意見及び改善方策への反映	【役割】伊都文化会館、糸島市運動公園の管理運営を行う。来館者用や利用者、主催者用のアンケートを実施する。 【意見・改善方策】指定管理者の自主事業との連動やアンケート結果に基づく事業改善を図る。	【役割】事業進捗に係る全体調整を行う。 【意見・改善方策】各主体の意見を取りまとめを行い、翌年度以降の事業改善へとつなげる。	【役割】市内の地域資源等を活用し、市民ニーズと大学研究を結び付けた研究活動を行う。 【意見・改善方策】専門的学識や調査・分析から事業の改善や方策を提案する。				【役割】文化芸術、スポーツの活動に参画する市民の意見等の取りまとめを行う。 【意見・改善方策】意見の取りまとめ結果に基づいて事業改善の提案を行う。

11. 交付対象事業の効果検証及び事業内容の見直しの方法、時期及び体制

地方公共団体名	外部組織による検証					
	検証時期			検証方法	外部組織の参画者	検証結果の公表方法
福岡県糸島市	毎年度	9	月	糸島市総合戦略の進捗状況等を検証する推進委員会にて、各事業の取組内容の評価・検証などを行い、必要な見直し、改善を行う。	九州大学、商工会、農業者、漁業者、食品産業従事者、事業経営者、観光協会等	市ホームページへの掲載

12. 地方版総合戦略の策定状況

地方公共団体名	地方版総合戦略の計画期間・基本目標	
	現行の地方版総合戦略	次期地方版総合戦略
福岡県糸島市	2020 年 4 月 1 日 から 2026 年 3 月 31 日 まで	2026 年 4 月 1 日 から 2031 年 3 月 31 日 まで
	まちの総合力アップ	まちの総合力アップ

13. 地域再生計画の名称等

地方公共団体名	地域再生計画の名称	
福岡県糸島市	糸島市まち・ひと・しごと創生推進交付金計画	
	地域再生計画の区域	福岡県糸島市の全域
	計画期間	地域再生計画の認定の日 から 2026 年 3 月 31 日 まで

9. 地域の多様な主体の参画

地方公共団体名								
	分類	産	官	学	住民全般			
	主体名	指定管理者	糸島市	九州大学	糸島市文化協会、糸島市スポーツ協会			
福岡県糸島市	主な役割、意見及び改善方策への反映	【役割】伊都文化会館、糸島市運動公園の管理運営を行う。来館者用や利用者、主催者用のアンケートを実施する。 【意見・改善方策】指定管理者の自主事業との連動やアンケート結果に基づく事業改善を図る。	【役割】事業進捗に係る全体調整を行う。 【意見・改善方策】各主体の意見を取りまとめを行い、翌年度以降の事業改善へとつなげる。	【役割】市内の地域資源等を活用し、市民ニーズと大学研究を結び付けた研究活動を行う。 【意見・改善方策】専門的学識や調査・分析から事業の改善や方策を提案する。	【役割】文化芸術、スポーツの活動に参画する市民の意見等の取りまとめを行う。 【意見・改善方策】意見の取りまとめ結果に基づいて事業改善の提案を行う。			

10. 交付対象事業の効果検証及び事業内容の見直しの方法、時期及び体制

地方公共団体名	外部組織による検証					
	検証時期			検証方法	外部組織の参画者	検証結果の公表方法
福岡県糸島市	毎年度	7	月	糸島市総合戦略の進捗状況等を検証する糸島市総合計画審議会地方創生部会にて、各事業の取組内容の評価・検証などを行い、必要な見直し、改善を行う。	九州大学、中村学園大学、商工会、JA、JF、地元金融機関、事業経営者、観光協会、公募委員　等	市ホームページへの掲載

11. 地方版総合戦略の策定状況

地方公共団体名	地方版総合戦略の計画期間・基本目標	
	現行の地方版総合戦略	次期地方版総合戦略
福岡県糸島市	2020 年 4 月 1 日 から 2026 年 3 月 31 日 まで	2026 年 4 月 1 日 から 2031 年 3 月 31 日 まで
	まちの総合力アップ	第3期まち・ひと・しごと創生糸島市総合戦略 基本目標1：安心して働き、豊かに暮らし続けられる生活環境の創生

12. 地域再生計画の名称等

地方公共団体名	地域再生計画の名称	
福岡県糸島市	第3期糸島市まち・ひと・しごと創生推進交付金計画	
	地域再生計画の区域	福岡県糸島市の全域
	計画期間	地域再生計画の認定の日 から 2031 年 3 月 31 日 まで

（別紙2-1）ソフト事業経費内訳

2026.1.27

	2025年度（1年目）	2026年度（2年目）	2027年度（3年目）	2028年度（4年目）	2029年度（5年目）	合計
交付対象事業経費【①】	5,977千円	22,670千円	10,273千円	0千円	0千円	38,920千円
交付対象事業におけるソフト事業経費【②】	5,977千円	11,087千円	5,726千円	0千円	0千円	22,790千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費【③】	0千円	11,583千円	4,547千円	0千円	0千円	16,130千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費比率【③/①】	0.0%	51.1%	44.3%	0.0%	0.0%	41.5%

＜2025年度（1年目）＞

全事業期間における本年の位置付け	本市の文化芸術振興について基本的な方向性を構築するために「文化芸術推進基本計画策定事業」に取り組む。また、本市に由縁のある文化財に市民が触れることができるように「歴史的絵画等展示事業」を実施する。 読書環境については、これまで本市が取り組んできた電子書籍サービスについて市民がより利活用するために、小中学生を対象とした「読書習慣形成・定着支援事業」を実施する。

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2025 年 4 月	2026 年 3 月	2025 年 4 月	当初	年 月		年 月	

交付対象事業経費	5,977千円

交付対象事業におけるソフト事業経費	要素事業数	3	計	5,977千円

1	文化芸術推進基本計画策定事業	関連するKPI ①、②、③ 【目的】 文化芸術に触れる機会の創出するなどの短期的な取組だけではなく、「文化・芸術を身近に感じるまち」を実現に向けて、本市の文化芸術振興の目指すべき姿や方向性を整理を行い、長期的かつ戦略的な取組を実施するための基本計画を策定することを目的とする。 【内容】 2024年度に実施した市民ニーズ把握の基礎調査を踏まえて、専門的な調査研究や分析を行い、有識者や文化関係者、公募市民による審議会等を行い、「糸島市文化芸術推進基本計画」を策定するもの。 ・計画策定業務委託（委託費）：2,977千円	2,977千円
2	歴史的絵画等展示事業	関連するKPI ①、②、③ 【目的】 絵画等の芸術作品は、経年劣化によりその価値を著しく減じるため、作品の維持には一定の費用が発生する。近代から近世にかけて活躍した松永冠山や藤瀬冠邨といった本市出身の著名な作家の作品については、歴史的絵画として寄贈を受け付け、伊都国歴史博物館において保管しているがm現状ではただ維持するだけであり、市民の目に触れさせることができていない。そこで、最低限の補修を加え、展示可能な状態に修復して公開することで、市民が文化・芸術に親しむ機会を創出することや価値ある絵画を市の財産として後世に伝えることを目的とする。 【内容】 経年劣化（欠損、折れ、汚れ）が進む絵画（掛け軸）の一部を展示が可能な状態に修復を行うもの。 ・掛け軸仕立て直し10点（委託費）：3,000千円	3,000千円
3	読書習慣形成・定着支援事業	関連するKPI ①、②、⑤ 【目的】 図書館の電子書籍サービスについては、中学・高校生向けや30～50 代向けの電子書籍を定期的に購入をしている。また、学校では1人1台タブレットの効果的な活用として、2022年度に中学1年生を対象に図書館の電子書籍を利用するためのIDを付与した。しかし、電子書籍は1人に貸し出すと他の人が閲覧することができない課題がある。いまだ紙の本を好む生徒が多いが、デジタル時代を生きる小中学生に対して、電子書籍の選択肢を増やすことにより、学校における読書を支援することで、不読率の抑制（読書離れの防止）を目的とする。 【内容】 小中学生全員に図書館の電子書籍を利用できるようIDの付与を行い、学校の授業や朝読等で一斉に電子書籍を読む環境を整えるため、同時に複数人が読むことができる児童書読み放題パックを導入するもの。	0千円

交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費	要素事業数	0	計	0千円

経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）

記載不要

＜2026年度（2年目）＞　※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け	「歴史的絵画等展示事業」を継続して実施することで、市民が糸島の文化芸術に触れるために文化財の整備を進める。併せて、伊都国歴史博物館で糸島の歴史や文化財を一体的に触れることができる拠点づくりを整備するために、「志摩歴史資料館収蔵資料展示事業」に着手する。さらに、創作活動に挑戦することができる環境を整備することに加え、展示作品を鑑賞した市民の興味・挑戦意欲も増進することを目的とした「文化芸術公募展事業」を開始する。

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2026 年 4 月	2027 年 3 月	2026 年 4 月	当初	年 月		年 月	

	2025年度（1年目）	2026年度（2年目）	2027年度（3年目）	2028年度（4年目）	2029年度（5年目）	合計
交付対象事業経費【①】	5,977千円	19,870千円	8,003千円	0千円	0千円	33,850千円
交付対象事業におけるソフト事業経費【②】	5,977千円	8,287千円	3,456千円	0千円	0千円	17,720千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費【③】	0千円	11,583千円	4,547千円	0千円	0千円	16,130千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費比率【③/①】	0.0%	58.3%	56.9%	0.0%	0.0%	47.7%

＜2025年度（1年目）＞　ソフト事業1年目に実施する全事業の中で、最も早い支出負担行為日(契約日、交付決定日等)　2025 年 4 月 1 日

全事業期間における本年の位置付け	本市の文化芸術振興について基本的な方向性を構築するために「文化芸術推進基本計画策定事業」に取り組む。また、本市に由縁のある文化財に市民が触れることができるように「歴史的絵画等展示事業」を実施する。 読書環境については、これまで本市が取り組んできた電子書籍サービスについて市民がより利活用するために、小中学生を対象とした「読書習慣形成・定着支援事業」を実施する。

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2025 年 4 月	2026 年 3 月	2025 年 4 月	当初	年 月		年 月	

交付対象事業経費	5,977千円

交付対象事業におけるソフト事業経費	要素事業数	3	計	5,977千円

1	文化芸術推進基本計画策定事業	関連するKPI ①、②、③ 【目的】 文化芸術に触れる機会の創出するなどの短期的な取組だけではなく、「文化・芸術を身近に感じるまち」を実現に向けて、本市の文化芸術振興の目指すべき姿や方向性を整理を行い、長期的かつ戦略的な取組を実施するための基本計画を策定することを目的とする。 【内容】 2024年度に実施した市民ニーズ把握の基礎調査を踏まえて、専門的な調査研究や分析を行い、有識者や文化関係者、公募市民による審議会等を行い、「糸島市文化芸術推進基本計画」を策定するもの。 ・計画策定業務委託（委託費）：2,977千円	2,977千円
2	歴史的絵画等展示事業	関連するKPI ①、②、③ 【目的】 絵画等の芸術作品は、経年劣化によりその価値を著しく減じるため、作品の維持には一定の費用が発生する。近代から近世にかけて活躍した松永冠山や藤瀬冠邨といった本市出身の著名な作家の作品については、歴史的絵画として寄贈を受け付け、伊都国歴史博物館において保管しているがm現状ではただ維持するだけであり、市民の目に触れさせることができていない。そこで、最低限の補修を加え、展示可能な状態に修復して公開することで、市民が文化・芸術に親しむ機会を創出することや価値ある絵画を市の財産として後世に伝えることを目的とする。 【内容】 経年劣化（欠損、折れ、汚れ）が進む絵画（掛け軸）の一部を展示が可能な状態に修復を行うもの。 ・掛け軸仕立て直し10点（委託費）：3,000千円	3,000千円
3	読書習慣形成・定着支援事業	関連するKPI ①、②、⑤ 【目的】 図書館の電子書籍サービスについては、中学・高校生向けや30～50 代向けの電子書籍を定期的に購入をしている。また、学校では1人1台タブレットの効果的な活用として、2022年度に中学1年生を対象に図書館の電子書籍を利用するためのIDを付与した。しかし、電子書籍は1人に貸し出すと他の人が閲覧することができない課題がある。いまだ紙の本を好む生徒が多いが、デジタル時代を生きる小中学生に対して、電子書籍の選択肢を増やすことにより、学校における読書を支援することで、不読率の抑制（読書離れの防止）を目的とする。 【内容】 小中学生全員に図書館の電子書籍を利用できるようIDの付与を行い、学校の授業や朝読等で一斉に電子書籍を読む環境を整えるため、同時に複数人が読むことができる児童書読み放題パックを導入するもの。	0千円

交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費	要素事業数	0	計	0千円

経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）

＜2026年度（2年目）＞　※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。　事業延長期間

全事業期間における本年の位置付け	「歴史的絵画等展示事業」を継続して実施することで、市民が糸島の文化芸術に触れるために文化財の整備を進める。併せて、伊都国歴史博物館で糸島の歴史や文化財を一体的に触れることができる拠点づくりを整備するために、「志摩歴史資料館収蔵資料展示事業」に着手する。~~さらに、創作活動に挑戦することができる環境を整備することに加え、展示作品を鑑賞した市民の興味・挑戦意欲も増進することを目的とした「文化芸術公募展事業」を開始する。~~

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2026 年 4 月	2027 年 3 月	2026 年 4 月	当初	年 月		年 月	

交付対象事業経費				22,670千円
交付対象事業におけるソフト事業経費	要素事業数	3	計	11,087千円

1 歴史的絵画等展示事業　関連するKPI ①、②、③　3,000千円

【目的】
絵画等の芸術作品は、経年劣化によりその価値を著しく減じるため、作品の維持には一定の費用が発生する。近代から近世にかけて活躍した松永冠山や藤瀬冠邨といった本市出身の著名な作家の作品について、歴史的絵画として寄贈を受け付け、伊都国歴史博物館において保管しているが、現状ではただ維持するだけであり、市民の目に触れさせることができていない。そこで、最低限の補修を加え、展示可能な状態に修復して公開することで、市民が文化・芸術に親しむ機会を創出することや価値ある絵画を市の財産として後世に伝えることを目的とする。

【内容】
経年劣化（欠損、折れ、汚れ）が進む絵画（掛け軸）の一部を展示が可能な状態に修復を行うもの。
・掛け軸仕立て直し10点（委託費）：3,000千円

2 志摩歴史資料館収蔵資料展示事業　関連するKPI ①、②、③　5,387千円

【目的】
志摩歴史資料館では、県指定文化財の国史跡新町支石墓群出土品をはじめ、貝塚、支石墓、古代の製鉄、正倉院に残る戸籍、干拓等など旧志摩町に関する資料を保管・展示している。2028年度に予定される志摩歴史資料館の建物民間活用に先立ち、収蔵品を伊都国歴史博物館へ移管する必要がある。そこで、単に資料を移管するだけではなく、志摩歴史資料館が果たしてきた役割も博物館へ集約することを目的とする。

【内容】
市民がすぐに糸島の歴史や文化財を一体的に触れることができる拠点となるように、伊都国歴史博物館に志摩歴史資料館が保管する志摩地域の資料を効果的に活用するために必要な展示設計を実施するもの。
・展示設計、造作（委託費）：3,728千円
・解説パネルの印刷（印刷製本費）：1,262千円

設計後に市の専門職員で対応可能な収蔵資料について、伊都国歴史博物館への移管を実施するもの。
・資料移管に係るコンテナ箱、段ボール、綿、文具類（消耗品費）：297千円

3 文化芸術公募展事業　関連するKPI ①、②、③　2,700千円

【目的】
子どもたちに学校教育の範囲を超えた文化芸術に親しむ機会を設けることで、創作活動に挑戦することができる環境を整備することに加え、展示作品を鑑賞した市民の興味・挑戦意欲も増進することを目的とする。

【内容】
小学生を対象とした絵画展や書道作品展、市民を対象とした糸島フォトコンテストを合わせた一体的な公募展を新規で実施するもの。また、伊都文化会館や伊都郷土美術館に加えて、市役所市民ホールや民間展示会場も活用することで、市民に広く公募展の参加機会を創出するもの。
・作品公募、展示会及び表彰式の運営等に係る経費（委託費）：1,348千円
・展示会期間中の作品管理経費（委託費）：231千円
・展示用パネルレンタル代、展示会場使用料（賃借料・使用料）：901千円

小学生対象絵画展や小学生書道作品展の受付期間前に制作意欲促進することや展示期間中の学習促進を図るため、子どものアート教室やアートに関する講演会を実施を行うもの。また、糸島フォトコンテストの上位入選者には賞品等を贈呈するもの。
・イベント講師等謝礼等、フォトコンテスト賞品（報償費）：120千円
・イベント講師招聘代（旅費）：5千円
・フォトコンテスト作品現像代（印刷製本費）：95千円

交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費	要素事業数	1	計	11,583千円

1 志摩歴史資料館収蔵資料移管・展示事業　関連するKPI ①、②、③　11,583千円

【目的】
志摩歴史資料館では、県指定文化財の国史跡新町支石墓群出土品をはじめ、貝塚、支石墓、古代の製鉄、正倉院に残る戸籍、干拓等など旧志摩町に関する資料を保管・展示している。2028年度に予定される志摩歴史資料館の建物民間活用に先立ち、収蔵品を伊都国歴史博物館へ移管する必要がある。そこで、単に資料を移管するだけではなく、志摩歴史資料館が果たしてきた役割も博物館へ集約することを目的とする。

【内容】
展示設計に基づいた志摩歴史資料館の収蔵品を伊都国歴史博物館の展示スペースを整備するもの。
・展示用ケース、中量棚（備品費）：11,583千円

経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）

記載不要

交付対象事業経費				19,870千円
交付対象事業におけるソフト事業経費	要素事業数	3	計	8,287千円

1 歴史的絵画等展示事業　関連するKPI ①、②、③　3,000千円

【目的】
絵画等の芸術作品は、経年劣化によりその価値を著しく減じるため、作品の維持には一定の費用が発生する。近代から近世にかけて活躍した松永冠山や藤瀬冠邨といった本市出身の著名な作家の作品について、歴史的絵画として寄贈を受け付け、伊都国歴史博物館において保管しているが、現状ではただ維持するだけであり、市民の目に触れさせることができていない。そこで、最低限の補修を加え、展示可能な状態に修復して公開することで、市民が文化・芸術に親しむ機会を創出することや価値ある絵画を市の財産として後世に伝えることを目的とする。

【内容】
経年劣化（欠損、折れ、汚れ）が進む絵画（掛け軸）の一部を展示が可能な状態に修復を行うもの。
・掛け軸仕立て直し10点（委託費）：3,000千円

2 志摩歴史資料館収蔵資料展示事業　関連するKPI ①、②、③　5,287千円

【目的】
志摩歴史資料館では、県指定文化財の国史跡新町支石墓群出土品をはじめ、貝塚、支石墓、古代の製鉄、正倉院に残る戸籍、干拓等など旧志摩町に関する資料を保管・展示している。2028年度に予定される志摩歴史資料館の建物民間活用に先立ち、収蔵品を伊都国歴史博物館へ移管する必要がある。そこで、単に資料を移管するだけではなく、志摩歴史資料館が果たしてきた役割も博物館へ集約することを目的とする。

【内容】
市民がすぐに糸島の歴史や文化財を一体的に触れることができる拠点となるように、伊都国歴史博物館に志摩歴史資料館が保管する志摩地域の資料を効果的に活用するために必要な展示設計を実施するもの。
・展示設計、造作（委託費）：3,728千円
・解説パネルの印刷（印刷製本費）：1,262千円

設計後に市の専門職員で対応可能な収蔵資料について、伊都国歴史博物館への移管を実施するもの。
・資料移管に係るコンテナ箱、段ボール、綿、文具類（消耗品費）：297千円

3 ~~文化芸術公募展事業~~　関連するKPI ~~①、②、③~~　0千円

~~【目的】~~
~~子どもたちに学校教育の範囲を超えた文化芸術に親しむ機会を設けることで、創作活動に挑戦することができる環境を整備することに加え、展示作品を鑑賞した市民の興味・挑戦意欲も増進することを目的とする。~~

~~【内容】~~
~~小学生を対象とした絵画展や書道作品展、市民を対象とした糸島フォトコンテストを合わせた一体的な公募展を新規で実施するもの。また、伊都文化会館や伊都郷土美術館に加えて、市役所市民ホールや民間展示会場も活用することで、市民に広く公募展の参加機会を創出するもの。~~
~~・作品公募、展示会及び表彰式の運営等に係る経費（委託費）：1,348千円~~
~~・展示会期間中の作品管理経費（委託費）：231千円~~
~~・展示用パネルレンタル代、展示会場使用料（賃借料・使用料）：901千円~~
~~小学生対象絵画展や小学生書道作品展の受付期間前に制作意欲促進することや展示期間中の学習促進を図るため、子どものアート教室やアートに関する講演会を実施を行うもの。また、糸島フォトコンテストの上位入選者には賞品等を贈呈するもの。~~
~~・イベント講師等謝礼等、フォトコンテスト賞品（報償費）：120千円~~
~~・イベント講師招聘代（旅費）：5千円~~
~~・フォトコンテスト作品現像代（印刷製本費）：95千円~~

交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費	要素事業数	1	計	11,583千円

1 志摩歴史資料館収蔵資料移管・展示事業　関連するKPI ①、②、③　11,583千円

【目的】
志摩歴史資料館では、県指定文化財の国史跡新町支石墓群出土品をはじめ、貝塚、支石墓、古代の製鉄、正倉院に残る戸籍、干拓等など旧志摩町に関する資料を保管・展示している。2028年度に予定される志摩歴史資料館の建物民間活用に先立ち、収蔵品を伊都国歴史博物館へ移管する必要がある。そこで、単に資料を移管するだけではなく、志摩歴史資料館が果たしてきた役割も博物館へ集約することを目的とする。

【内容】
展示設計に基づいた志摩歴史資料館の収蔵品を伊都国歴史博物館の展示スペースを整備するもの。
・展示用ケース、中量棚（備品費）：11,583千円

経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）

文化芸術公募展事業については、2025年度に策定する「糸島市文化芸術推進基本計画」に伴い、事業の在り方を見直すこととした。
単発的な公募展の実施から、市民が文化芸術に継続的に触れ、豊かな感性や創造性を育む機会の創出、さらには活動・鑑賞が出来る拠点や仕組みづくりを重視した取組へと再構成する。

＜2027年度（3年目）＞　※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け	「歴史的絵画等展示事業」で修復した絵画の展示、「志摩歴史資料館収蔵資料展示事業」で整備した伊都国歴史博物館の展示によって、文化・芸術に親しむ機会を加速化する。さらに、「文化芸術公募展事業」については、糸島市文化協会等の関係者による意見を反映することで事業のブラッシュアップを行い、より市民が文化芸術に関心をもち、意欲的に活動に取り組むことができる環境づくりを進める。

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2027　年　4　月	2028　年　3　月	2027　年　4　月	当初	年　月		年　月	

交付対象事業経費	10,273千円

交付対象事業におけるソフト事業経費	要素事業数	3	計	5,726千円

1	歴史的絵画等展示事業	関連するKPI ①、②、③	326千円

【目的】
絵画等の芸術作品は、経年劣化によりその価値を著しく減じるため、作品の維持には一定の費用が発生する。近代から近世にかけて活躍した松永冠山や藤瀬冠邨といった本市出身の著名な作家の作品について、歴史的絵画として寄贈を受け付け、伊都国歴史博物館において保管しているが、現状ではただ維持するだけであり、市民の目に触れさせることができていない。そこで、最低限の補修を加え、展示可能な状態に修復して公開することで、市民が文化・芸術に親しむ機会を創出することや価値ある絵画を市の財産として後世に伝えることを目的とする。

【内容】
修復した絵画作品について市役所市民ホールを活用した展示会を実施し、絵画の見どころを解説する講演会を開催するもの。
・展示作品に係るリーフレットの作成（印刷製本費）：32千円
・展示会に係る作品管理経費（委託費）：225千円
・消耗品費：39千円
・講演会に係る講師招聘（報償費）：30千円

2	志摩歴史資料館収蔵資料展示事業	関連するKPI ①、②、③	2,700千円

【目的】
志摩歴史資料館では、県指定文化財の国史跡新町支石墓群出土品をはじめ、貝塚、支石墓、古代の製鉄、正倉院に残る戸籍、干拓等など旧志摩町に関する資料を保管・展示している。2028年度に予定される志摩歴史資料館の建物民間活用に先立ち、収蔵品を伊都国歴史博物館へ移管する必要がある。そこで、単に資料を移管するだけではなく、志摩歴史資料館が果たしてきた役割も博物館へ集約することを目的とする。

【内容】
伊都国歴史博物館へ移管する志摩歴史資料館収蔵品の内、福岡県指定文化財を含む重要資料や脆弱な資料の移管を専門業者へ委託するもの。
・文化財輸送（委託費）：3,098千円
・文具類等（消耗品費）：32千円

3	文化芸術公募展事業	関連するKPI ①、②、③	2,700千円

【目的】
子どもたちに学校教育の範囲を超えた文化芸術に親しむ機会を設けることで、創作活動に挑戦することができる環境を整備することに加え、展示作品を鑑賞した市民の興味・挑戦意欲も増進することを目的とする。

【内容】
小学生を対象とした絵画展や書道作品展、市民を対象とした糸島フォトコンテストを合わせた一体的な公募展を新規で実施するもの。また、伊都文化会館や伊都郷土美術館に加えて、市役所市民ホールや民間展示会場も活用することで、市民に広く公募展の参加機会を創出するもの。
・作品公募、展示会及び表書式の運営等に係る経費（委託費）：1,348千円
・展示会期間中の作品管理経費（委託費）：231千円
・展示用パネルレンタル代、展示会場使用料（賃借料・使用料）：901千円

小学生対象絵画展や小学生書道作品展の受付期間前に制作意欲促進することや展示期間中の学習促進を図るため、子どものアート教室やアートに関する講演会を実施を行うもの。また、糸島フォトコンテストの上位入選者には賞品等を贈呈するもの。
・イベント講師等謝礼等、フォトコンテスト賞品（報償費）：120千円
・イベント講師招聘代（旅費）：5千円
・フォトコンテスト作品現像代（印刷製本費）：95千円

交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費	要素事業数	1	計	4,547千円

1	歴史的絵画等展示事業	関連するKPI ①、②、③	4,547千円

【目的】
絵画等の芸術作品は、経年劣化によりその価値を著しく減じるため、作品の維持には一定の費用が発生する。近代から近世にかけて活躍した松永冠山や藤瀬冠邨といった本市出身の著名な作家の作品について、歴史的絵画として寄贈を受け付け、伊都国歴史博物館において保管しているが、現状ではただ維持するだけであり、市民の目に触れさせることができていない。そこで、最低限の補修を加え、展示可能な状態に修復して公開することで、市民が文化・芸術に親しむ機会を創出することや価値ある絵画を市の財産として後世に伝えることを目的とする。

【内容】
修復した絵画作品の一部を市役所市民ホール等の公共施設に展示すること加えて、民間の展示スペース等を借用して作品の展示を実施するもの。
・展示用パネル及び支柱、パネル収納運搬台車（備品費）：4,547千円

経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）

記載不要

＜2027年度（3年目）＞　※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

事業延長期間

全事業期間における本年の位置付け	「歴史的絵画等展示事業」で修復した絵画の展示、「志摩歴史資料館収蔵資料展示事業」で整備した伊都国歴史博物館の展示によって、文化・芸術に親しむ機会を加速化する。~~さらに、「文化芸術公募展事業」については、糸島市文化協会等の関係者による意見を反映することで事業のブラッシュアップを行い、より市民が文化芸術に関心をもち、意欲的に活動に取り組むことができる環境づくりを進める。~~

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2027　年　4　月	2028　年　3　月	2027　年　4　月	当初	年　月		年　月	

交付対象事業経費	8,003千円

交付対象事業におけるソフト事業経費	要素事業数	3	計	3,456千円

1	歴史的絵画等展示事業	関連するKPI ①、②、③	326千円

【目的】
絵画等の芸術作品は、経年劣化によりその価値を著しく減じるため、作品の維持には一定の費用が発生する。近代から近世にかけて活躍した松永冠山や藤瀬冠邨といった本市出身の著名な作家の作品について、歴史的絵画として寄贈を受け付け、伊都国歴史博物館において保管しているが、現状ではただ維持するだけであり、市民の目に触れさせることができていない。そこで、最低限の補修を加え、展示可能な状態に修復して公開することで、市民が文化・芸術に親しむ機会を創出することや価値ある絵画を市の財産として後世に伝えることを目的とする。

【内容】
修復した絵画作品について市役所市民ホールを活用した展示会を実施し、絵画の見どころを解説する講演会を開催するもの。
・展示作品に係るリーフレットの作成（印刷製本費）：32千円
・展示会に係る作品管理経費（委託費）：225千円
・消耗品費：39千円
・講演会に係る講師招聘（報償費）：30千円

2	志摩歴史資料館収蔵資料展示事業	関連するKPI ①、②、③	3,130千円

【目的】
志摩歴史資料館では、県指定文化財の国史跡新町支石墓群出土品をはじめ、貝塚、支石墓、古代の製鉄、正倉院に残る戸籍、干拓等など旧志摩町に関する資料を保管・展示している。2028年度に予定される志摩歴史資料館の建物民間活用に先立ち、収蔵品を伊都国歴史博物館へ移管する必要がある。そこで、単に資料を移管するだけではなく、志摩歴史資料館が果たしてきた役割も博物館へ集約することを目的とする。

【内容】
伊都国歴史博物館へ移管する志摩歴史資料館収蔵品の内、福岡県指定文化財を含む重要資料や脆弱な資料の移管を専門業者へ委託するもの。
・文化財輸送（委託費）：3,098千円
・文具類等（消耗品費）：32千円

3	~~文化芸術公募展事業~~	関連するKPI ~~①、②、③~~	0千円

~~【目的】~~
~~子どもたちに学校教育の範囲を超えた文化芸術に親しむ機会を設けることで、創作活動に挑戦することができる環境を整備することに加え、展示作品を鑑賞した市民の興味・挑戦意欲も増進することを目的とする。~~

~~【内容】~~
~~小学生を対象とした絵画展や書道作品展、市民を対象とした糸島フォトコンテストを合わせた一体的な公募展を新規で実施するもの。また、伊都文化会館や伊都郷土美術館に加えて、市役所市民ホールや民間展示会場も活用することで、市民に広く公募展の参加機会を創出するもの。~~
~~・作品公募、展示会及び表彰式の運営等に係る経費（委託費）：1,348千円~~
~~・展示会期間中の作品管理経費（委託費）：231千円~~
~~・展示用パネルレンタル代、展示会場使用料（賃借料・使用料）：901千円~~
~~・~~
~~小学生対象絵画展や小学生書道作品展の受付期間前に制作意欲促進することや展示期間中の学習促進を図るため、子どものアート教室やアートに関する講演会を実施を行うもの。また、糸島フォトコンテストの上位入選者には賞品等を贈呈するもの。~~
~~・イベント講師等謝礼等、フォトコンテスト賞品（報償費）：120千円~~
~~・イベント講師招聘代（旅費）：5千円~~
~~・フォトコンテスト作品現像代（印刷製本費）：95千円~~

交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費	要素事業数	1	計	4,547千円

1	歴史的絵画等展示事業	関連するKPI ①、②、③	4,547千円

【目的】
絵画等の芸術作品は、経年劣化によりその価値を著しく減じるため、作品の維持には一定の費用が発生する。近代から近世にかけて活躍した松永冠山や藤瀬冠邨といった本市出身の著名な作家の作品について、歴史的絵画として寄贈を受け付け、伊都国歴史博物館において保管しているが、現状ではただ維持するだけであり、市民の目に触れさせることができていない。そこで、最低限の補修を加え、展示可能な状態に修復して公開することで、市民が文化・芸術に親しむ機会を創出することや価値ある絵画を市の財産として後世に伝えることを目的とする。

【内容】
修復した絵画作品の一部を市役所市民ホール等の公共施設に展示することに加えて、民間の展示スペース等を借用して作品の展示を実施するもの。
・展示用パネル及び支柱、パネル収納運搬台車（備品費）：4,547千円

経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）

文化芸術公募展事業については、2025年度に策定する「糸島市文化芸術推進基本計画」に伴い、事業の在り方を見直すこととした。
単発的な公募展の実施から、市民が文化芸術に継続的に触れ、豊かな感性や創造性を育む機会の創出、さらには活動・鑑賞が出来る拠点や仕組みづくりを重視した取組へと再構成する。

＜2028年度（4年目）＞　※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け							
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年　月	年　月	年　月		年　月		年　月	
交付対象事業経費	0千円						
交付対象事業におけるソフト事業経費			要素事業数		計	0千円	
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費			要素事業数		計	0千円	
経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）							
記載不要							

＜2029年度（5年目）＞　※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け							
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年　月	年　月	年　月		年　月		年　月	
交付対象事業経費	0千円						
交付対象事業におけるソフト事業経費			要素事業数		計	0千円	
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費			要素事業数		計	0千円	
経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）							
記載不要							

＜2028年度（4年目）＞　※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

事業延長期間	

全事業期間における本年の位置付け							
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年　月	年　月	年　月		年　月		年　月	
交付対象事業経費	0千円						
交付対象事業におけるソフト事業経費			要素事業数		計	0千円	
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費			要素事業数		計	0千円	
経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）							

＜2029年度（5年目）＞　※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

事業延長期間	

全事業期間における本年の位置付け							
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年　月	年　月	年　月		年　月		年　月	
交付対象事業経費	0千円						
交付対象事業におけるソフト事業経費			要素事業数		計	0千円	
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費			要素事業数		計	0千円	
経費内訳変更の理由（事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載）							

（別紙2-2）拠点整備事業経費内訳

2026.1.27

1．交付対象施設の概要

（1）施設の名称及び場所

施設の名称	糸島市曽根グラウンド
施設の場所	福岡県糸島市曽根68-1

（2－1）施設の所有者

種類	地方公共団体	名称	福岡県糸島市
出資比率			

（2－2）施設の整備主体

整備主体	

（2－3）民間事業者等（公共的団体等を除く）が所有主体の場合　※該当がある場合

該当	①	民間事業者等（公共的団体等を除く）が所有する施設等を地方公共団体や公共的団体等が整備する場合		
	②	民間事業者等（公共的団体等を除く）が所有し、かつ整備する施設等について、地方公共団体が整備費を補助する場合		
要件	地方自治法に基づく「公の施設」として位置付けられるか			「公の施設」としての位置付け及び協定等の締結の時期（例）●年●月頃
	（「公の施設」として位置付けられない場合）協定等の締結により中長期的・安定的な施設運営を担保されるか			
	「公の施設」として位置付けられない理由			
	協定等の内容			

2．事業計画期間及び施設の供用開始年度

施設整備等の事業計画期間及び施設の供用開始年度	①事業計画期間（全体）※その他の補助金等を用いて整備する部分も含めた全体期間									②事業計画期間（交付対象）※拠点整備タイプの対象事業の実施期間									施設の供用開始年度
	2025	年	4	月	～	2028	年	3	月	2025	年	4	月	～	2028	年	3	月	2028年度
「①全体」と「②交付対象」の期間が異なる理由※①と②の終了時期が異なる場合のみ記載																			

3．経費内訳

	2025年度（1年目）	2026年度（2年目）	2027年度（3年目）	2028年度（4年目）	2029年度（5年目）	合計
交付対象事業経費【①】	0千円	77,324千円	214,801千円	0千円	0千円	292,125千円
交付対象事業における建築物整備経費【②】	0千円	1,842千円	21,626千円	0千円	0千円	23,468千円
交付対象事業における設備整備・用地造成等経費【③】	0千円	75,482千円	190,523千円	0千円	0千円	266,005千円
交付対象事業における備品整備経費【④】	0千円	0千円	2,652千円	0千円	0千円	2,652千円
交付対象事業における効果促進事業（ソフト事業）経費【⑤】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業における備品整備経費比率【④/①】	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	1.0%
全体事業費	0千円	77,342千円	214,820千円	0千円	0千円	292,162千円

1．交付対象施設の概要

（1）施設の名称及び場所

施設の名称	糸島市曽根グラウンド
施設の場所	福岡県糸島市曽根68-1

（2－1）施設の所有者

種類	地方公共団体	名称	福岡県糸島市
出資比率			

（2－2）施設の整備主体

整備主体	

（2－3）民間事業者等（公共的団体等を除く）が所有主体の場合　※該当がある場合

該当	Ⓐ	民間事業者等（公共的団体等を除く）が所有する施設等を地方公共団体や公共的団体等が整備する場合		
	Ⓑ	民間事業者等（公共的団体等を除く）が所有し、かつ整備する施設等について、地方公共団体が整備費を補助する場合		
要件	地方自治法に基づく「公の施設」として位置付けられるか			「公の施設」としての位置付け及び協定等の締結の時期（例）●年●月頃
	（「公の施設」として位置付けられない場合）協定等の締結により中長期的・安定的な施設運営を担保されるか			
	「公の施設」として位置付けられない理由			
	協定等の内容			

2．事業計画期間及び施設の供用開始年度

施設整備等の事業計画期間及び施設の供用開始年度	①事業計画期間（全体）※その他の補助金等を用いて整備する部分も含めた全体期間									②事業計画期間（交付対象）※拠点整備タイプの対象事業の実施期間									施設の供用開始年度
	2025	年	4	月	～	2028	年	3	月	2025	年	4	月	～	2028	年	3	月	2028年度
「①全体」と「②交付対象」の期間が異なる理由※①と②の終了時期が異なる場合のみ記載																			

3．経費内訳

	2025年度（1年目）	2026年度（2年目）	2027年度（3年目）	2028年度（4年目）	2029年度（5年目）	合計
交付対象事業経費【①】	0千円	78,102千円	215,163千円	0千円	0千円	293,265千円
交付対象事業における建築物整備経費【②】	0千円	2,620千円	21,988千円	0千円	0千円	24,608千円
交付対象事業における設備整備・用地造成等経費【③】	0千円	75,482千円	190,523千円	0千円	0千円	266,005千円
交付対象事業における備品整備経費【④】	0千円	0千円	2,652千円	0千円	0千円	2,652千円
交付対象事業における効果促進事業（ソフト事業）経費【⑤】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業における備品整備経費比率【④/①】	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	1.0%
全体事業費	0千円	78,102千円	215,163千円	0千円	0千円	293,265千円
（2－3）Ⓑに該当する場合の全体事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
（2－3）Ⓑに該当する場合の交付対象事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

＜2025年度（1年目）＞

全事業期間における本年の位置付け	施設の供用開始から多くの市民に利用され、親しまれるグラウンドの整備を目指し、他自治体での整備事例等に係る調査・研究を行うとともに、利用が想定されるスポーツ関係団体等の意見を聴取する。 また、調査・研究の結果や聴取した意見等を参考としながら、グラウンドフェンスの設置、グラウンドへの芝生設置、駐車場の整備に係る実施設計を市職員により実施する。

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
#### 年 4 月	#### 年 3 月	#### 年 4 月	当初	年 月		年 月	

交付対象事業経費	0千円						
建築物整備経費	0千円	設備整備・用地造成等経費	0千円	備品経費	0千円	効果促進事業（ソフト事業）経費	0千円

間接補助分 ※その他の補助金等を除いた金額	全体事業費	0千円	交付対象事業経費の上限額	国の負担	0千円	0.0%
	民間事業者等への補助額	0千円		地方公共団体の負担	0千円	0.0%
	交付対象事業経費	0千円	0千円	民間事業者等の負担	0千円	0.0%

建築物整備の内容					要素事業数	
区分	間接補助	整備内容の説明	金額（千円）全体	金額（千円）対象	経費内訳	
小計			0	0		
		うち間接補助	0	0		

設備整備・用地造成等の内容					要素事業数	
区分	間接補助	整備内容の説明	金額（千円）全体	金額（千円）対象	経費内訳	
小計			0	0		
		うち間接補助	0	0		

備品整備の内容					要素事業数	
間接補助	備品整備の説明		金額（千円）全体	金額（千円）対象	経費内訳	
小計			0	0		
		うち間接補助	0	0		

効果促進事業（ソフト事業）の内容					要素事業数	
間接補助	効果促進事業（ソフト事業）の説明		金額（千円）全体	金額（千円）対象	経費内訳	
小計			0	0		
		うち間接補助	0	0		

経費内訳変更の理由	

＜2025年度（1年目）

拠点整備事業1年目に実施する全事業の中で、最も早い支出負担行為日(契約日、交付決定日等)	2026	年	5	月	1	日

全事業期間における本年の位置付け	施設の供用開始から多くの市民に利用され、親しまれるグラウンドの整備を目指し、他自治体での整備事例等に係る調査・研究を行うとともに、利用が想定されるスポーツ関係団体等の意見を聴取する。 また、調査・研究の結果や聴取した意見等を参考としながら、グラウンドフェンスの設置、グラウンドへの芝生設置、駐車場の整備に係る実施設計を市職員により実施する。

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2025 年 4 月	2026 年 3 月	2025 年 4 月	当初	年 月		年 月	

交付対象事業経費	0千円						
建築物整備経費	0千円	設備整備・用地造成等経費	0千円	備品経費	0千円	効果促進事業（ソフト事業）経費	0千円

建築物整備の内容					要素事業数	0
区分		整備内容の説明	金額（千円）全体	金額（千円）対象	経費内訳	
小計			0	0		

設備整備・用地造成等の内容					要素事業数	
区分		整備内容の説明	金額（千円）全体	金額（千円）対象	経費内訳	
小計			0	0		

備品整備の内容					要素事業数	
備品整備の説明			金額（千円）全体	金額（千円）対象	経費内訳	
小計			0	0		

効果促進事業（ソフト事業）の内容					要素事業数	
効果促進事業（ソフト事業）の説明			金額（千円）全体	金額（千円）対象	経費内訳	
小計			0	0		

経費内訳変更の理由	

＜2026年度（2年目）＞　※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け	2028年度の供用開始に向け、グラウンドフェンスの設置、駐車場の整備に取り組む。 また、屋外トイレ、倉庫の建設に係る実施設計を行う。

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2026 年 4 月	2027 年 3 月	2026 年 4 月	当初	年 月		年 月	

交付対象事業経費	77,324千円

建築物整備経費	1,842千円	設備整備・用地造成等経費	75,482千円	備品経費	0千円	効果促進事業（ソフト事業）経費	0千円

間接補助分 ※その他の補助金等を除いた金額			交付対象事業経費の上限額			
	全体事業費	0千円	0千円	国の負担	0千円	0.0%
	民間事業者等への補助額	0千円		地方公共団体の負担	0千円	0.0%
	交付対象事業経費	0千円		民間事業者等の負担	0千円	0.0%

建築物整備の内容　要素事業数 1

区分	間接補助	整備内容の説明	金額（千円）全体	金額（千円）対象	経費内訳
新築		【施設名称】 糸島市曽根グラウンド 【整備内容】 ・屋外トイレ、倉庫建築に係る実施設計	1,860	1,842	【実施設計委託】1,842千円 ・屋外トイレ、倉庫建設実施設計委託　1,842千円（うち、交付対象事業経費 1,842千円） 【手数料】18千円 ・建築確認申請手数料、開発許可不要証明手数料　18千円（うち、交付対象事業経費　0千円） 【合計】1,860千円 （うち、交付対象事業経費　1,842千円）
小計			1,860	1,842	
うち間接補助			0	0	

関連するKPI	①、②、④
間接補助の場合は以下も記載　※その他の補助金等を除いた金額	
全体事業費	
民間事業者等への補助額	
上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合	

交付対象事業経費の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%
		地方公共団体の負担	0千円	0.0%
		民間事業者等の負担	0千円	0.0%

設備整備・用地造成等の内容　要素事業数 1

区分	間接補助	整備内容の説明	金額（千円）全体	金額（千円）対象	経費内訳
用地造成		【設備等名称】 ・曽根グラウンドフェンス ・曽根グランド利用者駐車場 【整備内容】 ・整備するグラウンドにフェンスを設置し、快適にスポーツを楽しめる環境を創出 ・施設利用者のための駐車場を整備	75,482	75,482	【工事費】75,482千円 ・フェンス整備工事　22,952千円（うち、交付対象事業経費　22,952千円） ・駐車場整備工事　16,621千円（うち、交付対象事業経費　16,621千円） ・諸経費等　35,909千円（うち、交付対象事業経費　35,909千円） 【合計】 75,482千円 （うち、交付対象事業経費　75,482千円）
小計			75,482	75,482	
うち間接補助			0	0	

関連するKPI	①、②、④
間接補助の場合は以下も記載　※その他の補助金等を除いた金額	
全体事業費	
民間事業者等への補助額	
上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合	

交付対象事業経費の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%
		地方公共団体の負担	0千円	0.0%
		民間事業者等の負担	0千円	0.0%

＜2026年度（2年目）＞　※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け	2028年度の供用開始に向け、グラウンドフェンスの設置、駐車場の整備に取り組む。 また、屋外トイレ、倉庫の建設に係る実施設計を行う。

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2026 年 4 月	2027 年 3 月	2026 年 4 月	当初	年 月		年 月	

交付対象事業経費	78,102千円

建築物整備経費	2,620千円	設備整備・用地造成等経費	75,482千円	備品経費	0千円	効果促進事業（ソフト事業）経費	0千円

建築物整備の内容　要素事業数 1

区分	整備内容の説明	金額（千円）全体	金額（千円）対象	経費内訳
新築	【施設名称】 糸島市曽根グラウンド 【整備内容】 ・屋外トイレ、倉庫建築に係る実施設計	2,620	2,620	【実施設計委託】2,620千円 ・屋外トイレ、倉庫建設実施設計委託　2,620千円（うち、交付対象事業経費 2,620千円） ~~【手数料】18千円~~ ~~・建築確認申請手数料、開発許可不要証明手数料　18千円（うち、交付対象事業経費　0千円）~~ ~~【合計】1,860千円~~ ~~（うち、交付対象事業経費　1,842千円）~~
小計		2,620	2,620	

関連するKPI	①、②、④
（2－3）Ⓑに該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額	
全体事業費	
民間事業者等への補助額	

設備整備・用地造成等の内容　要素事業数 1

区分	整備内容の説明	金額（千円）全体	金額（千円）対象	経費内訳
用地造成	【設備等名称】 ・曽根グラウンドフェンス ・曽根グランド利用者駐車場 【整備内容】 ・整備するグラウンドにフェンスを設置し、快適にスポーツを楽しめる環境を創出 ・施設利用者のための駐車場を整備	75,482	75,482	【工事費】75,482千円 ・フェンス整備工事　12,032千円（うち、交付対象事業経費　12,032千円） ・駐車場整備工事　27,541千円（うち、交付対象事業経費　27,541千円） ・諸経費等　35,909千円（うち、交付対象事業経費　35,909千円） 【合計】 75,482千円 （うち、交付対象事業経費　75,482千円）
小計		75,482	75,482	

関連するKPI	①、②、④
（2－3）Ⓑに該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額	
全体事業費	
民間事業者等への補助額	

備品の内容				要素事業数	0
間接補助	備品整備の説明	金額（千円）		経費内訳	
		全体	対象		
小計		0	0		
	うち間接補助	0	0		

効果促進事業（ソフト事業）の内容				要素事業数	0
間接補助	効果促進事業（ソフト事業）の説明	金額（千円）		経費内訳	
		全体	対象		
小計		0	0		
	うち間接補助	0	0		

経費内訳変更の理由	

備品整備の内容				要素事業数	0
備品整備の説明	金額（千円）		経費内訳		
	全体	対象			
小計	0	0			

効果促進事業（ソフト事業）の内容				要素事業数	0
効果促進事業（ソフト事業）の説明	金額（千円）		経費内訳		
	全体	対象			
小計	0	0			

経費内訳変更の理由	実施設計・管理委託業務については、近年の物価高騰や労務費等の上昇を踏まえ、委託料の積算を見直した結果、増額となった。 フェンス及び駐車場工事に係る経費内訳については、積算誤りを修正するため内訳を変更したものであり、事業全体の金額に変更はない。

＜2027年度（3年目）＞　※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け	グラウンドの芝生設置、屋外トイレ、倉庫の建築、サッカーゴール・ラグビーポールの備品を購入し、2028年度の供用開始に向けた準備を整える。

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2027 年 4 月	2028 年 3 月	2027 年 4 月	当初	2027 年 4 月	当初	年 月	

交付対象事業経費	214,801千円						
建築物整備経費	21,626千円	設備整備・用地造成等経費	190,523千円	備品経費	2,652千円	効果促進事業（ソフト事業）経費	0千円

間接補助分 ※その他の補助金等を除いた金額			交付対象事業経費の上限額			
	全体事業費	0千円	0千円	国の負担	0千円	0.0%
	民間事業者等への補助額	0千円		地方公共団体の負担	0千円	0.0%
	交付対象事業経費	0千円		民間事業者等の負担	0千円	0.0%

建築物整備の内容　　要素事業数 1

区分	間接補助	整備内容の説明	金額（千円）全体	金額（千円）対象	経費内訳
新築		【施設名称】 糸島市曽根グラウンド 【整備内容】 ・屋外トイレの整備 ・倉庫の整備	21,645	21,626	【建築物本体工事】20,684千円 （うち、交付対象事業経費　20,684千円） ・屋外トイレ建築工事　16,071千円（うち、交付対象事業経費　16,071千円） ・倉庫建築工事　4,613千円（うち、交付対象事業経費　4,613千円） 【監理業務委託】942千円 ・屋外トイレ、倉庫建築監理業務委託　942千円（うち、交付対象事業経費 942千円） 【手数料】19千円 ・建築完了検査手数料　19千円（うち、交付対象事業経費　0千円） 【合計】21,645千円 （うち、交付対象事業経費　21,626千円）
小計			21,645	21,626	
うち間接補助			0	0	

関連するKPI	①、②、④
間接補助の場合は以下も記載　※その他の補助金等を除いた金額	
全体事業費	
民間事業者等への補助額	
上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合	〇〇県　xx,xxx千円、〇〇市　xx,xxx千円、〇〇市　xx,xxx千円

交付対象事業経費の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%
		地方公共団体の負担	0千円	0.0%
		民間事業者等の負担	0千円	0.0%

設備整備・用地造成等の内容　　要素事業数 1

区分	間接補助	整備内容の説明	金額（千円）全体	金額（千円）対象	経費内訳
設備整備		【設備等名称】 糸島市曽根グラウンド 【整備内容】 ・グラウンドへの芝生設置	190,523	190,523	【芝生設置工事】190,523千円 （うち、交付対象事業経費　190,523千円） ・人工張芝　103,961千円（うち、交付対象事業経費　103,961千円） ・諸経費等　86,562千円（うち、交付対象事業経費　86,562千円）

関連するKPI	①、②、④
間接補助の場合は以下も記載　※その他の補助金等を除いた金額	
全体事業費	
民間事業者等への補助額	
上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合	

交付対象事業経費の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%
		地方公共団体の負担	0千円	0.0%
		民間事業者等の負担	0千円	0.0%

＜2027年度（3年目）＞　※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け	グラウンドの芝生設置、屋外トイレ、倉庫の建築、サッカーゴール・ラグビーポールの備品を購入し、2028年度の供用開始に向けた準備を整える。

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2027 年 4 月	2028 年 3 月	2027 年 4 月	当初	2027 年 4 月	当初	年 月	

交付対象事業経費	215,163千円						
建築物整備経費	21,988千円	設備整備・用地造成等経費	190,523千円	備品経費	2,652千円	効果促進事業（ソフト事業）経費	0千円

建築物整備の内容　　要素事業数 1

区分	整備内容の説明	金額（千円）全体	金額（千円）対象	経費内訳
新築	【施設名称】 糸島市曽根グラウンド 【整備内容】 ・屋外トイレの整備 ・倉庫の整備	21,988	21,988	【建築物本体工事】20,684千円 （うち、交付対象事業経費　20,684千円） ・屋外トイレ建築工事　16,071千円（うち、交付対象事業経費　16,071千円） ・倉庫建築工事　4,613千円（うち、交付対象事業経費　4,613千円） 【監理業務委託】1,304千円 ・屋外トイレ、倉庫建築監理業務委託　1,304千円（うち、交付対象事業経費 1,304千円） ~~【手数料】19千円~~ ~~・建築完了検査手数料　19千円（うち、交付対象事業経費　0千円）~~ 【合計】21,988千円 （うち、交付対象事業経費　21,988千円）
小計		21,988	21,988	

関連するKPI	①、②、④
（2－3）Ⓑに該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額	
全体事業費	
民間事業者等への補助額	

設備整備・用地造成等の内容　　要素事業数 1

区分	整備内容の説明	金額（千円）全体	金額（千円）対象	経費内訳
設備整備	【設備等名称】 糸島市曽根グラウンド 【整備内容】 ・グラウンドへの芝生設置	190,523	190,523	【芝生設置工事】190,523千円 （うち、交付対象事業経費　190,523千円） ・人工張芝　103,961千円（うち、交付対象事業経費　103,961千円） ・諸経費等　86,562千円（うち、交付対象事業経費　86,562千円）

関連するKPI	①、②、④
（2－3）Ⓑに該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額	
全体事業費	
民間事業者等への補助額	

小計		190,523	190,523
	うち間接補助	0	0

備品整備の内容	要素事業数	1

間接補助	備品整備の説明	金額（千円） 全体	対象	経費内訳
	【設備等名称】 糸島市曽根グラウンド 【内容及びその必要性】 サッカーゴール、ラグビーポールの整備 ・さまざまな市民が、陸上・サッカー・ラグビーなどのスポーツを楽しむことができるとともに、市民の競技能力の向上を図るため、土のグラウンドではなく人工芝を設置し、より安全に、思う存分スポーツに取り組むことができる環境を創出することとしている。 そのため、グラウンド場の主たる活用を想定しているスポーツに対応するための備品を購入する必要がある。	2,652	2,652	【備品購入費】 2,652千円 （うち、交付対象事業経費 2,652千円） ・サッカーゴール（3）、ラグビーポール（1） 2,652千円（うち、交付対象事業経費 2,652千円）

関連するKPI	①、②、④
間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額	
全体事業費	
民間事業者等への補助額	
上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合	

交付対象事業経費の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%
		地方公共団体の負担	0千円	0.0%
		民間事業者等の負担	0千円	0.0%

小計		2,652	2,652
	うち間接補助	0	0

効果促進事業（ソフト事業）の内容	要素事業数	

間接補助	効果促進事業（ソフト事業）の説明	金額（千円） 全体	対象	経費内訳
小計		0	0	
	うち間接補助	0	0	

経費内訳変更の理由	

小計		190,523	190,523

備品整備の内容	要素事業数	1

備品整備の説明	金額（千円） 全体	対象	経費内訳
【設備等名称】 糸島市曽根グラウンド 【内容及びその必要性】 サッカーゴール、ラグビーポールの整備 ・さまざまな市民が、陸上・サッカー・ラグビーなどのスポーツを楽しむことができるとともに、市民の競技能力の向上を図るため、土のグラウンドではなく人工芝を設置し、より安全に、思う存分スポーツに取り組むことができる環境を創出することとしている。 そのため、グラウンド場の主たる活用を想定しているスポーツに対応するための備品を購入する必要がある。	2,652	2,652	【備品購入費】 2,652千円 （うち、交付対象事業経費 2,652千円） ・サッカーゴール（3）、ラグビーポール（1） 2,652千円（うち、交付対象事業経費 2,652千円）

関連するKPI	①、②、④
（2－3）Ⓑに該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額	
全体事業費	
民間事業者等への補助額	

小計	2,652	2,652

効果促進事業（ソフト事業）の内容	要素事業数	

効果促進事業（ソフト事業）の説明	金額（千円） 全体	対象	経費内訳
小計	0	0	

経費内訳変更の理由	実施設計・管理委託業務については、近年の物価高騰や労務費等の上昇を踏まえ、委託料の積算を見直した結果、増額となった。

＜2028年度（4年目）＞　※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け							
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年　月	年　月	年　月		年　月		年　月	

交付対象事業経費	0千円

建築物整備経費	0千円	設備整備・用地造成等経費	0千円	備品経費	0千円	効果促進事業（ソフト事業）経費	0千円

間接補助分 ※その他の補助金等を除いた金額			交付対象事業経費の上限額			
	全体事業費	0千円	0千円	国の負担	0千円	0.0%
	民間事業者等への補助額	0千円		地方公共団体の負担	0千円	0.0%
	交付対象事業経費	0千円		民間事業者等の負担	0千円	0.0%

建築物整備の内容					要素事業数	
区分	間接補助	整備内容の説明	金額（千円） 全体	対象	経費内訳	
小計			0	0		
		うち間接補助	0	0		

設備整備・用地造成等の内容					要素事業数	
区分	間接補助	整備内容の説明	金額（千円） 全体	対象	経費内訳	
小計			0	0		
		うち間接補助	0	0		

備品整備の内容					要素事業数	
間接補助	備品整備の説明		金額（千円） 全体	対象	経費内訳	
小計			0	0		
		うち間接補助	0	0		

効果促進事業（ソフト事業）の内容					要素事業数	
間接補助	効果促進事業（ソフト事業）の説明		金額（千円） 全体	対象	経費内訳	
小計			0	0		
		うち間接補助	0	0		

経費内訳変更の理由	

＜2028年度（4年目）＞　※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け							
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年　月	年　月	年　月		年　月		年　月	

交付対象事業経費	0千円

建築物整備経費	0千円	設備整備・用地造成等経費	0千円	備品経費	0千円	効果促進事業（ソフト事業）経費	0千円

建築物整備の内容					要素事業数	
区分	整備内容の説明	金額（千円） 全体	対象	経費内訳		
小計		0	0			

設備整備・用地造成等の内容					要素事業数	
区分	整備内容の説明	金額（千円） 全体	対象	経費内訳		
小計		0	0			

備品整備の内容					要素事業数	
備品整備の説明		金額（千円） 全体	対象	経費内訳		
小計		0	0			

効果促進事業（ソフト事業）の内容					要素事業数	
効果促進事業（ソフト事業）の説明		金額（千円） 全体	対象	経費内訳		
小計		0	0			

経費内訳変更の理由	

＜2029年度（5年目）＞　※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け							
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年　月	年　月	年　月		年　月		年　月	

交付対象事業経費	0千円

建築物整備経費	0千円	設備整備・用地造成等経費	0千円	備品経費	0千円	効果促進事業（ソフト事業）経費	0千円

間接補助分 ※その他の補助金等を除いた金額			交付対象事業経費の上限額			
	全体事業費	0千円	0千円	国の負担	0千円	0.0%
	民間事業者等への補助額	0千円		地方公共団体の負担	0千円	0.0%
	交付対象事業経費	0千円		民間事業者等の負担	0千円	0.0%

建築物整備の内容					要素事業数	
区分	間接補助	整備内容の説明	金額（千円） 全体	対象	経費内訳	
小計			0	0		
		うち間接補助	0	0		

設備整備・用地造成等の内容					要素事業数	
区分	間接補助	整備内容の説明	金額（千円） 全体	対象	経費内訳	
小計			0	0		
		うち間接補助	0	0		

備品整備の内容					要素事業数	
間接補助	備品整備の説明		金額（千円） 全体	対象	経費内訳	
小計			0	0		
		うち間接補助	0	0		

効果促進事業（ソフト事業）の内容					要素事業数	
間接補助	効果促進事業（ソフト事業）の説明		金額（千円） 全体	対象	経費内訳	
小計			0	0		
		うち間接補助	0	0		

経費内訳変更の理由	

＜2029年度（5年目）＞　※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け							
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年　月	年　月	年　月		年　月		年　月	

交付対象事業経費	0千円

建築物整備経費	0千円	設備整備・用地造成等経費	0千円	備品経費	0千円	効果促進事業（ソフト事業）経費	0千円

建築物整備の内容					要素事業数	
区分	整備内容の説明	金額（千円） 全体	対象	経費内訳		
小計		0	0			

設備整備・用地造成等の内容					要素事業数	
区分	整備内容の説明	金額（千円） 全体	対象	経費内訳		
小計		0	0			

備品整備の内容					要素事業数	
備品整備の説明		金額（千円） 全体	対象	経費内訳		
小計		0	0			

効果促進事業（ソフト事業）の内容					要素事業数	
効果促進事業（ソフト事業）の説明		金額（千円） 全体	対象	経費内訳		
小計		0	0			

経費内訳変更の理由	